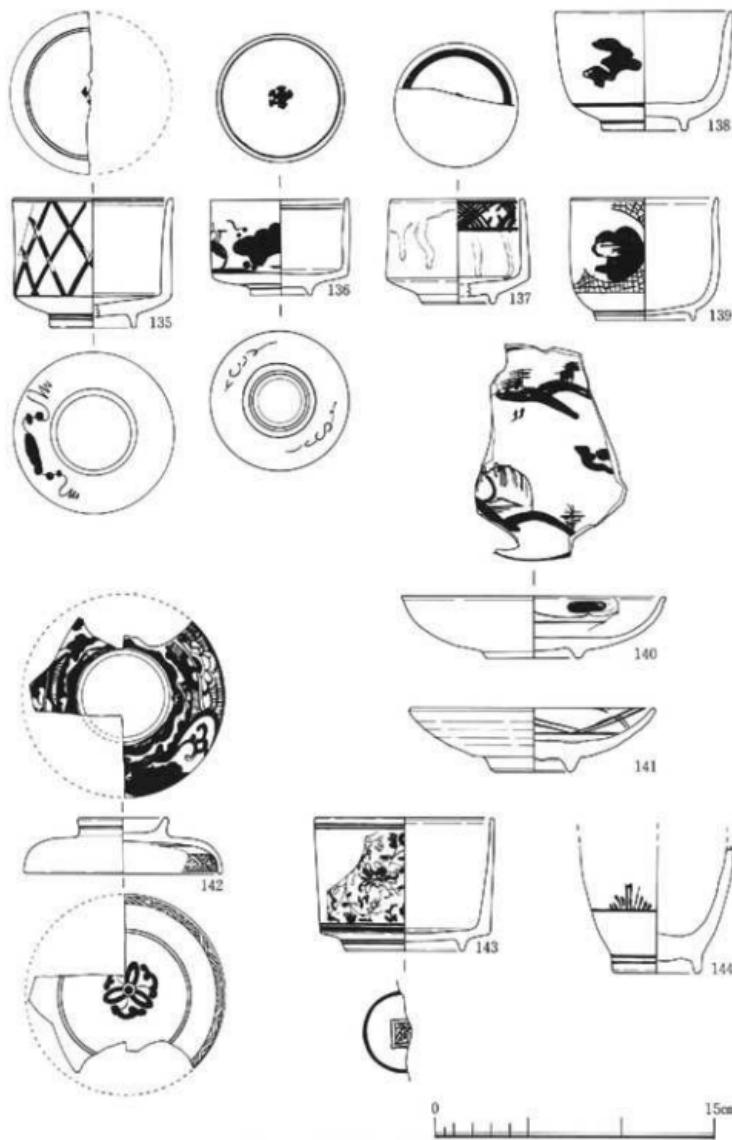


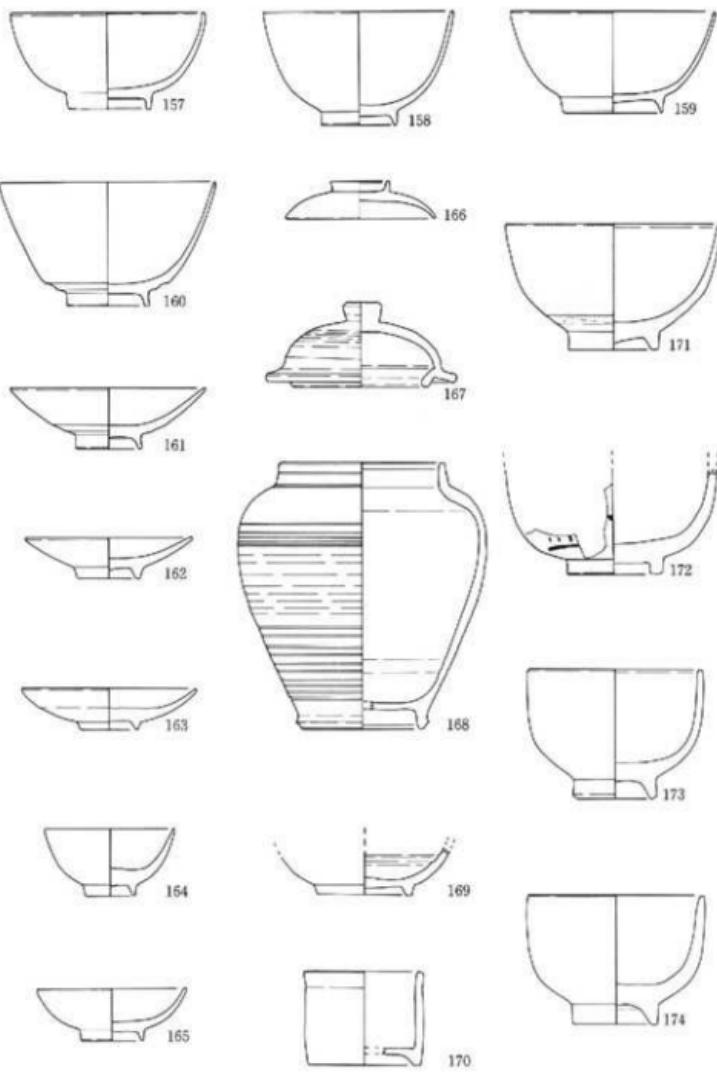
第32図 包含層出土遺物（3）



第33図 包含層出土遺物（4）



第34図 包含層出土遺物（5）



第35図 包含層出土遺物（6）



体部に牡丹唐草文を施す。口縁端部内側の釉は削りとっている。底部高台内に圓線と「角福」銘をもつ。

(144・146) は徳利である。(145) は大きい鉢である。内面体部の側面は四つに区画した部分に竹などの文様が描かれる。外面体部側面に唐草文を配する。

(147・148) は小杯である。二点共に内面は無文で外面体部に文様をもつ。(149～156) は高脚杯であり、杯部の浅いもの(149～151) と深いもの(152～154) 杯部が皿状のもの(155・156) がある。

(157～170) は白磁である。そのほとんどが伊万里の製品と思われる。(157～160) は碗であり薄く丁寧な造りのものばかりである。

(161～163) は皿であり、(161) は(160) の碗とセットになると考えられる。(162) は内面見込みを輪状に削りとっており他の碗や皿は全面施釉であるが、この個体だけは内面より外面体部下半までしか施釉されていない。(164・165) は小杯であり、(164) は底部が厚い。(166・167) は蓋である。(168・169) は壺である。(167) の蓋と(168) の壺はセットである。藏骨容器に使用されたと思われる。薄く丁寧な造りで外面体部に細い削り痕を残している。

(170) は内面のみ施釉されており、外面は露胎のままである。蓋であろうか。

陶器 (第36・37・38・39図、図版15・16・23)

(171～174) は碗である。(171) は外面口縁部より体部下半までソーダ色の釉が施されている。内面は白濁釉が掛かる。(172) はねずみ色の釉を全面施釉し高台盤付部分の釉を削りとっている。外面釉裏下に鉄絵を施す。全面に粗い貫入あり。(173・174) は灰釉が全面に掛かり、高台盤付の釉を削りとっている。全面に細かい貫入が入る。

(175～180) は唐津焼である。(175～177) は刷毛目唐津の碗である。(178～180) は皿である。3点共に内面見込みの釉を輪状に削りとっている。高台は全て削り出しであり、釉は外面高台脇まで施される。(178) は内側面に鉄絵を描く。

(181～185) は京焼系陶器の碗である。内面に鉄絵を中心、舟(181) 花文(182) 竹(183) トンボ(184) の絵付けがなされる。釉は外面高台脇まで施され、細かい貫入がいる。底部高台裏にスタンプをもつもの(181) がある。

(188～193) は瀬戸・美濃系陶器である。(188) は黄褐色の釉が内面より外面体部下半まで施される茶碗である。(189～192) は筒形の碗で、口径が器高より広いもの(189・190) と口径が器高とほぼ同じもの(191・192) の2タイプある。4点共、淡褐色の素地

に灰釉を施したもので、(189・190)は鉄絵が外面体部に施されている。(191)は外面体部に鉄釉を帶状に施している。(193)は灰釉の小杯である。釉は外面高台脇まで施される。

(186・187)は底地不明であり、(186)は内面より外面体部下半まで鉄釉が施される。(187)は内側面に菊の立体的な貼付け文をもつ。釉は淡褐色で、内面より外面口縁端部まで施される。

(194～197)は壺であり、胎土は4点共精良である。(194)は刷毛目唐津であり、口縁端部内側より外面体部下半まで二単位の波状を刷毛目で描いている。外面の露胎部分はヘラ削りで調整され、暗赤褐色に発色している。

(195～197)は大谷焼である。(195・197)は外面に黒褐色の鉄釉が施釉される。

(196)は外面に暗茶色の釉が施される。

(198～200)は陶器蓋である。(198)は外面は褐色の釉を波状に刷毛塗りし、内面は暗褐色の釉を施釉している。口縁端部よりかえり端部は釉を削りとっている。胎土は灰色に発色し、精良である。(200)は貼付けつまみをもち、外面には茶色の釉を施す。(199)はトチリ鍋の蓋である。

(201・202)は鉢である。(201)は唐津焼の片口鉢で緑褐色の釉が内面より外面体部上半部まで施される。外面にねずみ色の釉で波状文が描かれる。露胎部分は化粧掛けがなされる。(202)は瀬戸焼で透明感の強い灰釉が内面より外面体部下半まで施される。色調は灰白色を呈し、胎土はやや軟質である。高台裏に墨書きがみられる。

(203・204)は備前焼である。(203)は徳利で外面肩部にヘラ描きがみられる。(204)は建水であり口縁端部より外面底部脇まで泥漿が塗られる。

(205)はビンダライである。外側面に葉文を描く。胎土は淡黄色でやや軟質である。

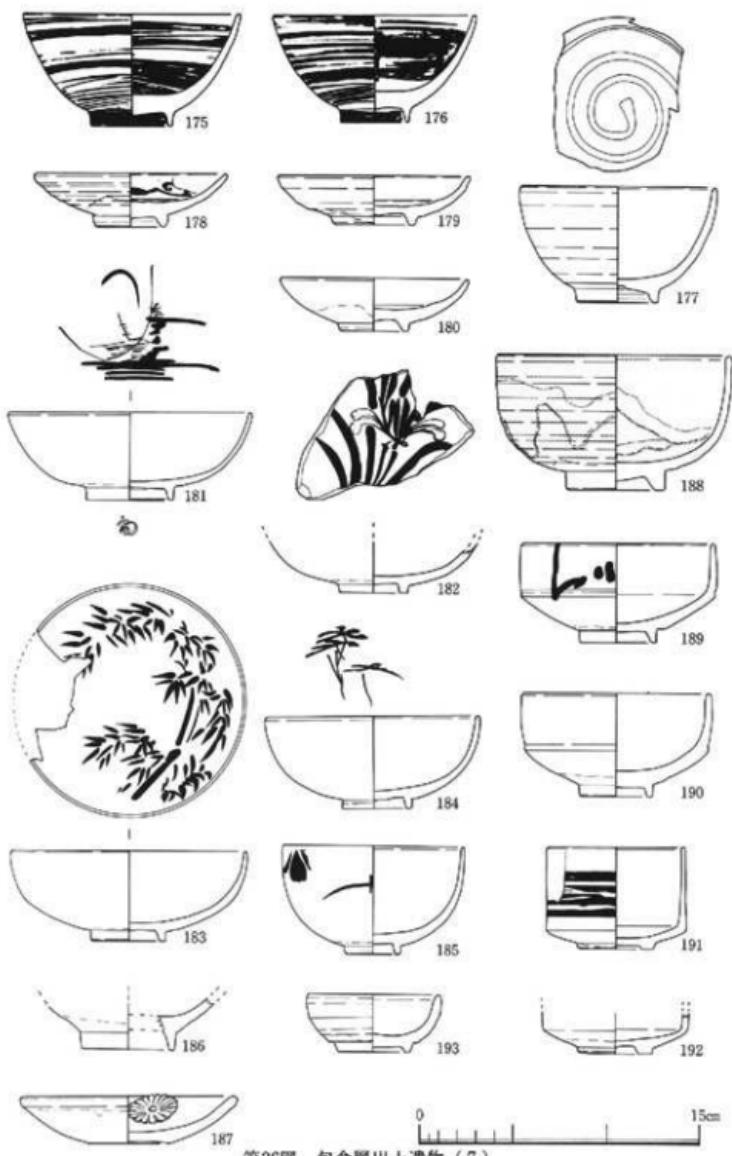
(206)は信楽焼の水指である。口縁部外側面に13本の沈線を施している。外面には泥漿が塗られる。

(207～210)は摺鉢である。(207～209)は備前焼である。全て暗赤褐色を呈する。

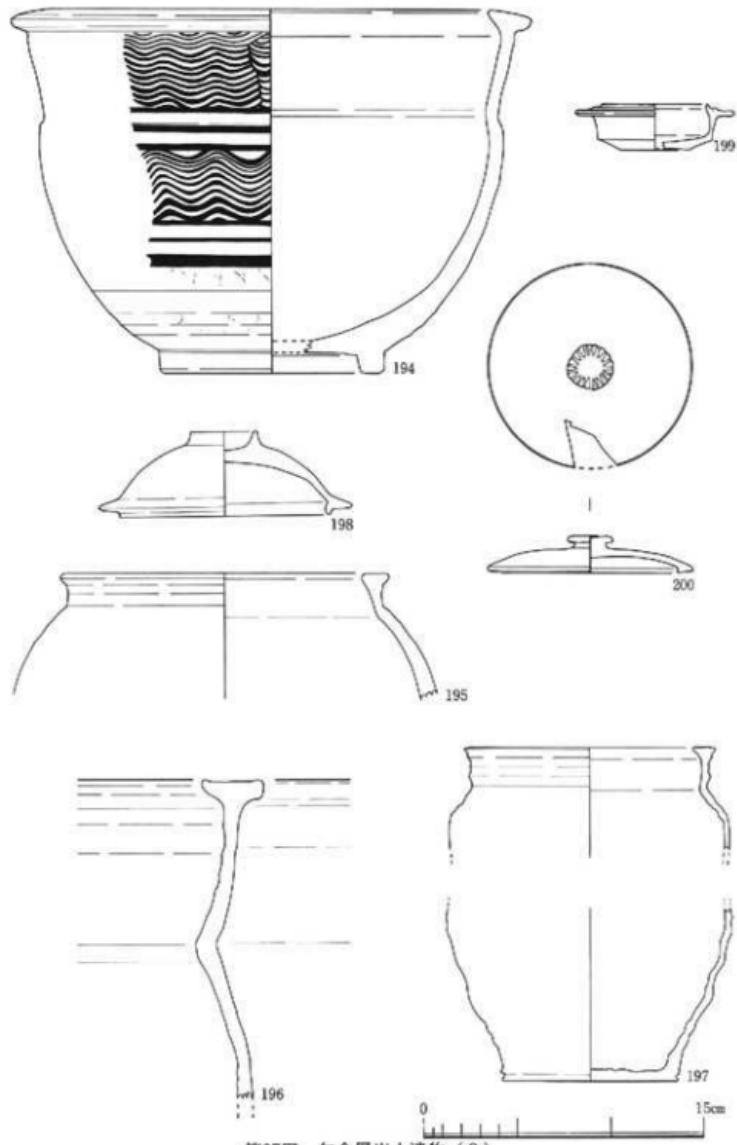
(207)と(208)はサイズが同じである。(207)は13本櫛で(208)は15本櫛を単位とする櫛目をもつ。

(209)は前2個体と比べて口径、器高ともにやや大振りである。櫛目の単位は12本である。

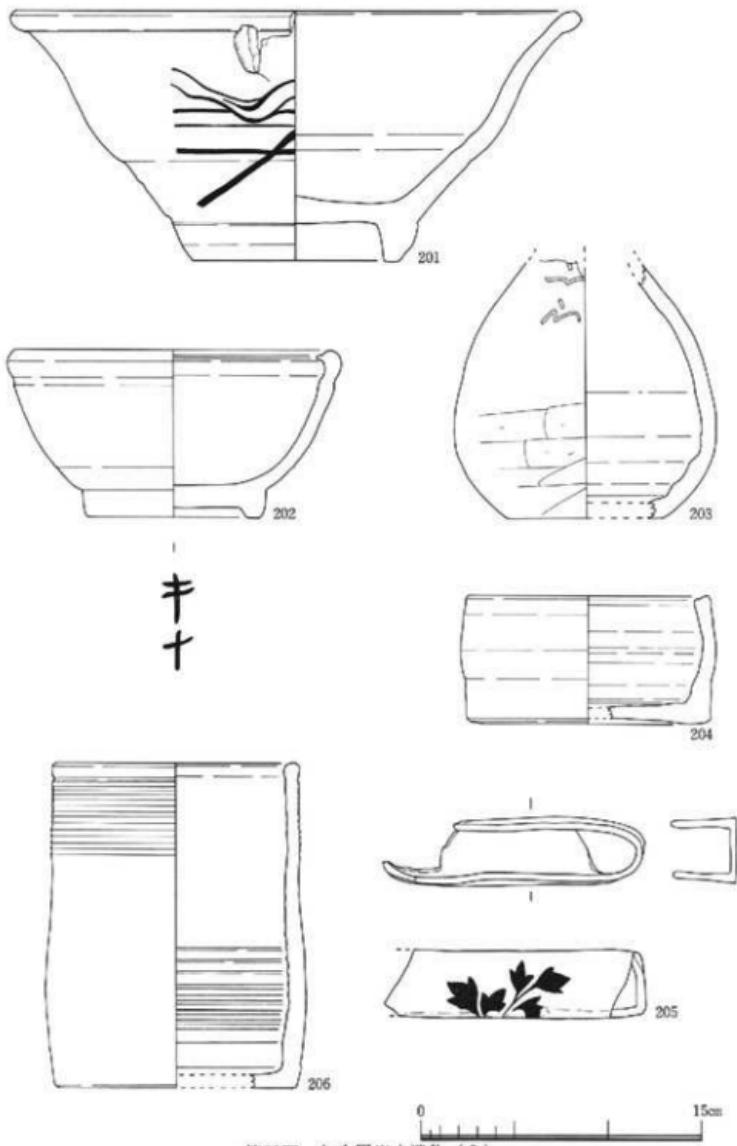
(210)は14単位の櫛目をもち、色調は茶褐色を呈する。胎土は軟質であり淡黄色を呈す。



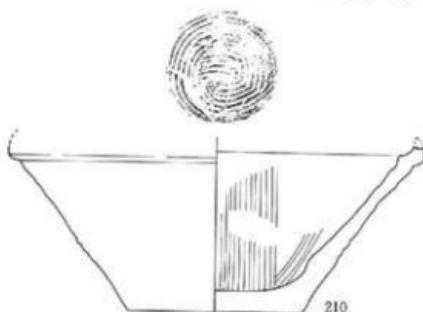
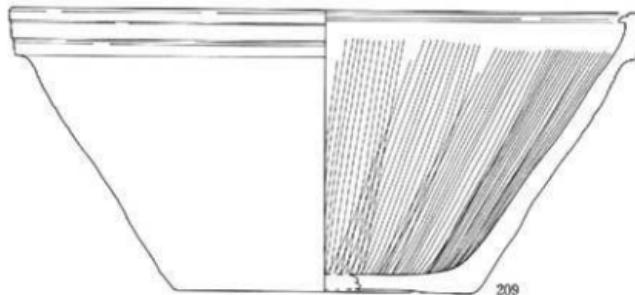
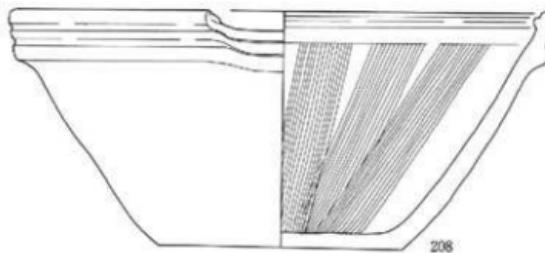
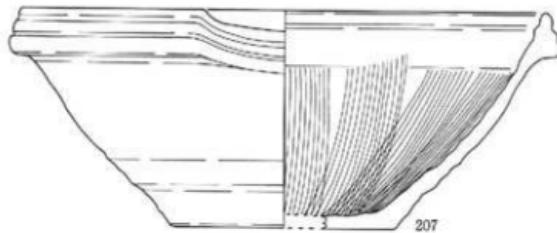
第36図 包含層出土遺物（7）



第37圖 包含層出土遺物（8）

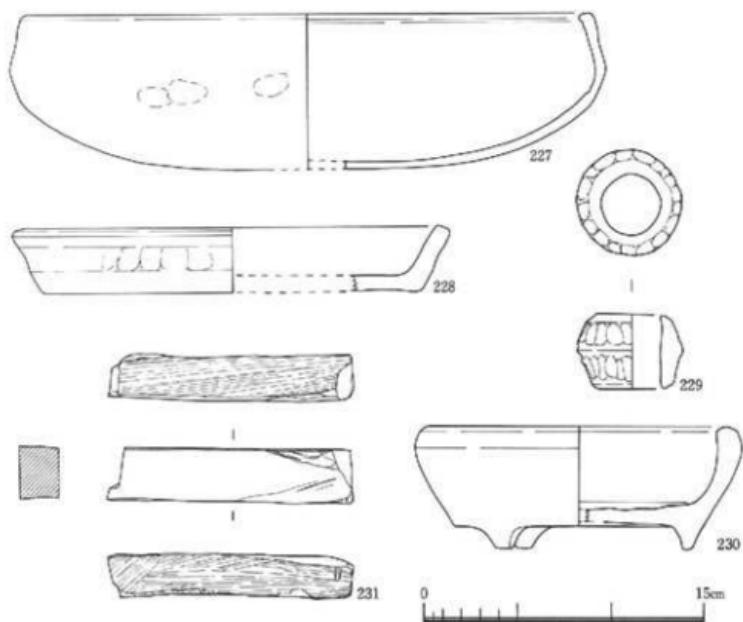
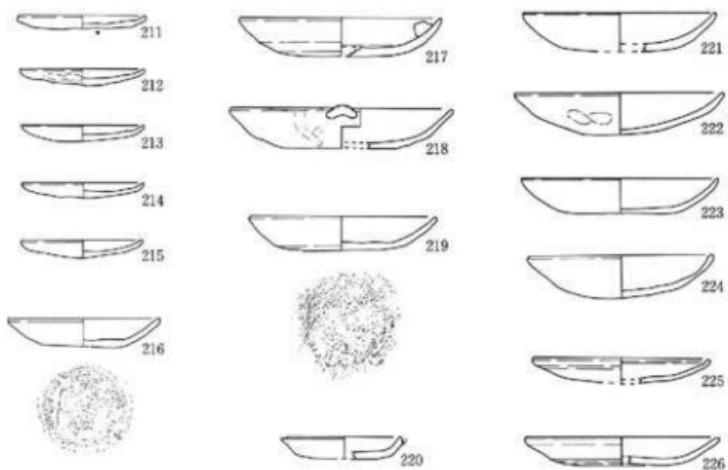


第38図 包含層出土遺物（9）



第39圖 包含層出土遺物 (10)





第40図 包含層出土遺物 (11)

内面底部は一回転の櫛目をもつ。产地は不明。

土師質、その他 (第40図、図版14)

(211～224) は土師質の皿であるが (216～220) は施釉土師質皿である。(211～215) は器高の低い口径約6.5cmの小皿である。(216～220) は内面より口縁端部外面まで飴色の釉を施す。(217) は口縁端部内面に3箇所粘土塊を貼付けている。また (218) は口縁部外面に粘土塊を3箇所貼付けている。(218) の口縁部外面には煤が部分的に付着している。(217・218) は底部が指おさえであるのに対して (216・219・220) は底部に回転系切痕を残す。サイズも前2点と比べて小さい。

(221～224) は底部が指おさえである。(226) は赤褐色に発色し、飴釉が掛けられているが、焼成が良好で胎土が陶質化している。(225) は焼成が悪く瓦質となっている。口縁端部に煤が付着している。

(227・228) は土師質の炮焰である。(227) は外面体部に指頭痕を残している。底部は丸底窓である。(228) は底部が平底で口縁部が外方へ開く。器壁は (227) に比べて厚い。

(230) は土師質の火合である。貼付けの三足をもつ。(229) は陶製の土錘である。

瓦

近世以降の瓦は、コンテナで約650箱分出土している。以下詳細を述べる。

軒丸 (第41・42図、図版26・27)

軒丸瓦の瓦当文様として、巴文のものが4種類出土している。外区文様として珠文帯が配されるが、珠文の数が16単位のものと、13単位のものがある。16単位のものが (233) で、13単位のものが (232・234～240) である。珠文帯が13単位のものはさらに珠文が偏平で面をもつもの (232・234) 、珠文が小さいもの (238) 、珠文が半球形を呈するもの (235～237・239・240) に3分される。

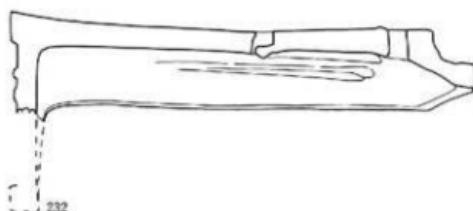
軒平 (第43図、図版28)

瓦当文様は全て均正唐草文であり、5種類以上のタイプを認めた。(241～245) は中心に上向形中心飾を配し、粗略化された蕨手が中心より外に向かう文様である。周縁は直立縁。(241～245) はそれぞれ範が違い文様は基本的に同じだがそれぞれ細部が異なる。

全て両脇区の拡張が進行しており、周縁のうち両脇区が約1/2を占めている。

丸瓦 (第44図、図版29)

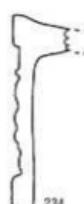
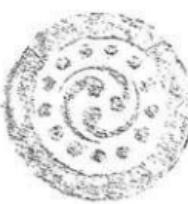
全て玉縁がつくタイプであるが、玉縁の長さが短いのをその特徴とする。サイズ、厚さ



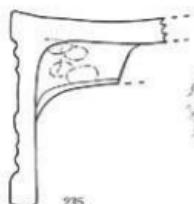
232



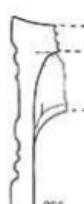
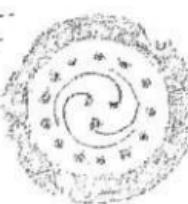
233



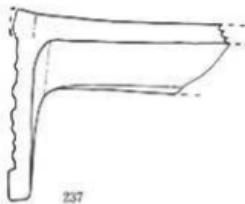
234



235



236

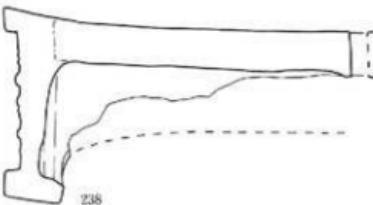


237

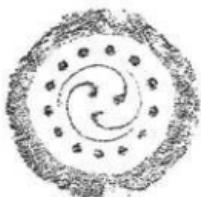
0

20cm

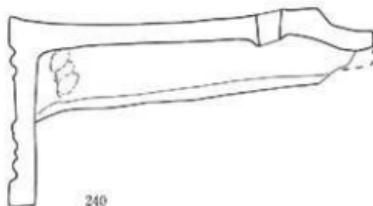
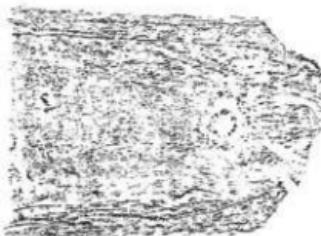
第41図 包含層出土遺物 (12)



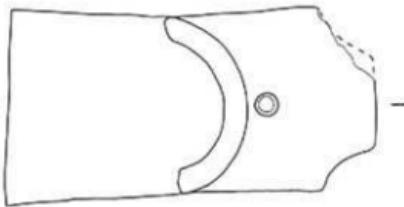
238



239



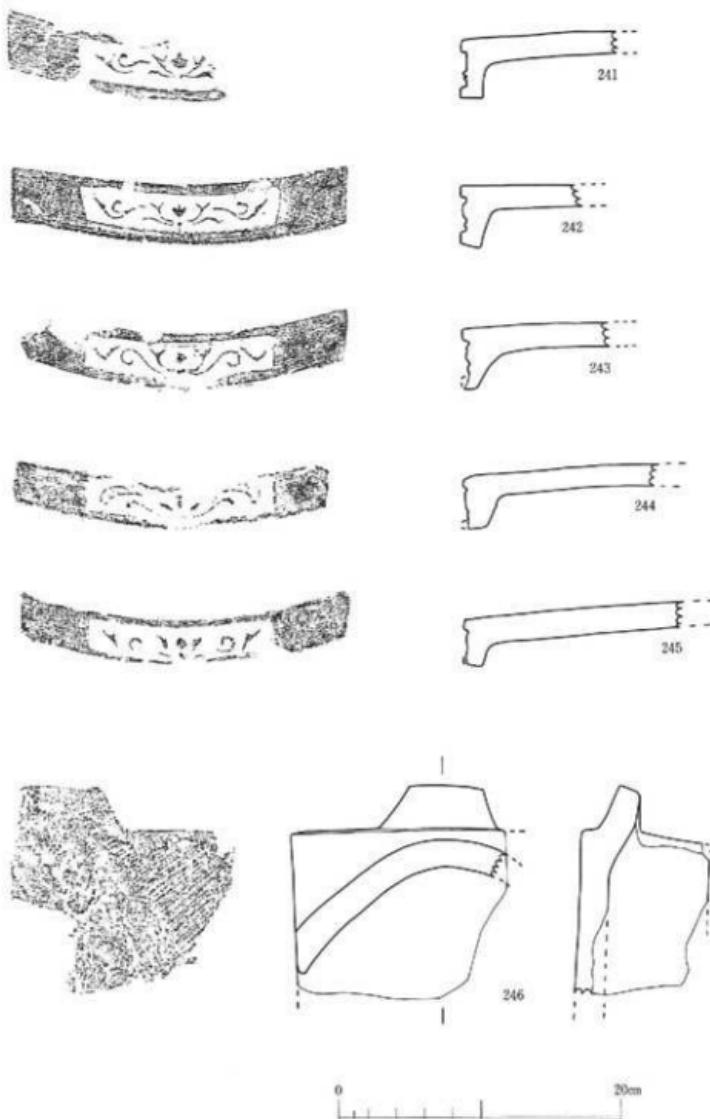
240



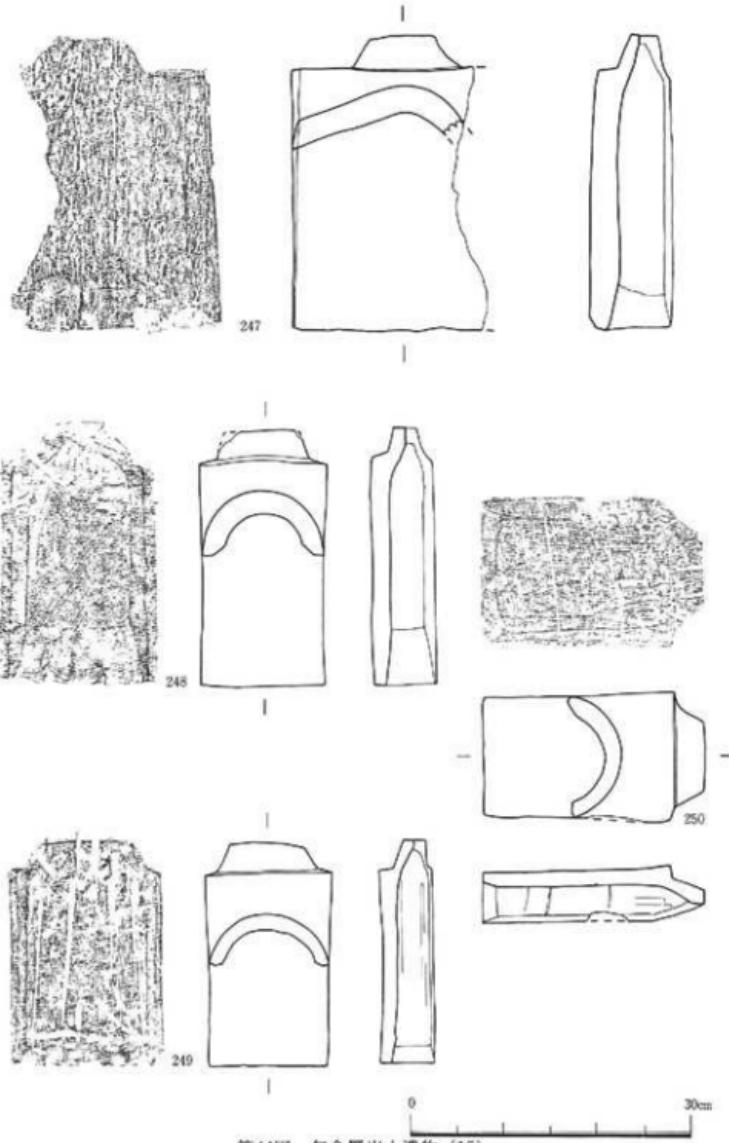
0

20cm

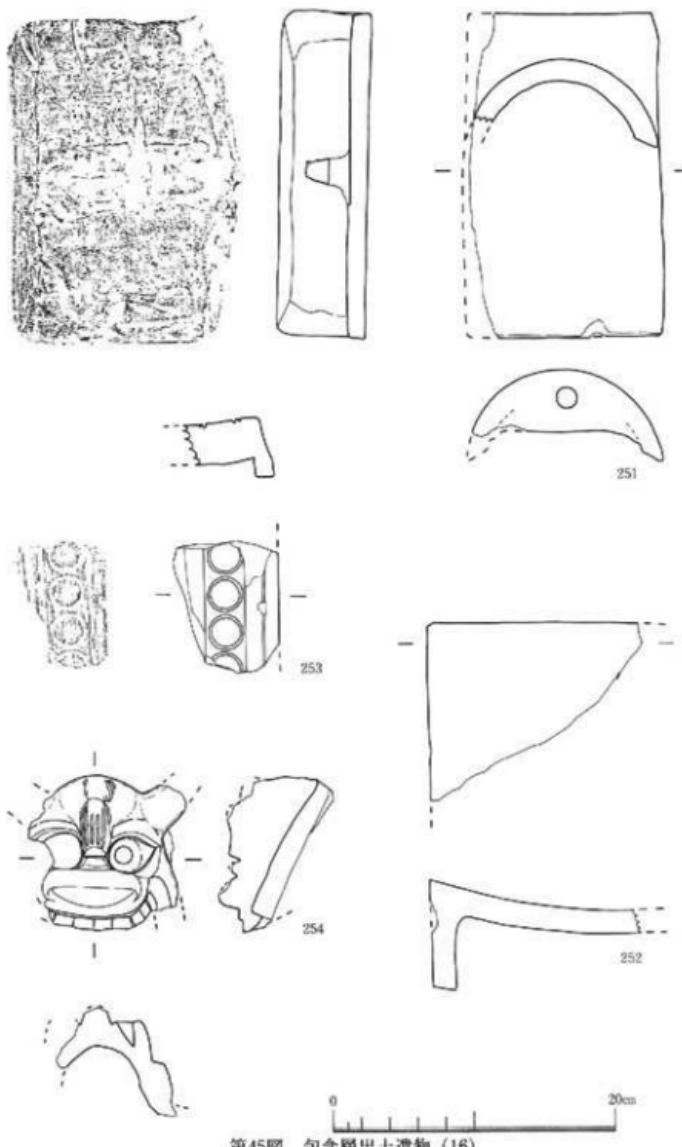
第42図 包含層出土遺物 (13)



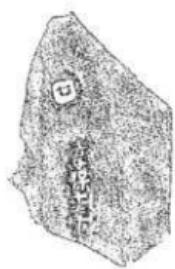
第43図 包含層出土遺物 (14)



第44図 包含層出土遺物 (15)



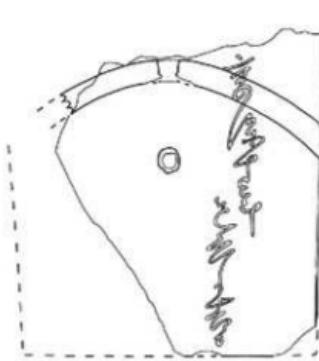
第45図 包含層出土遺物 (16)



255



256



257



0

20cm

第46図 包含層出土遺物 (17)

などで、大きい順に（248・249・250）などがある。（250）は凸面に縦方向のヘラナデ調整がみられる。また凹面は布目、及び布をはがすための粗跡が残る。

道具瓦（第45図、図版31）

（246・247）は雁振で凸面は部分的に布目を残し、凹面はナデ調整。玉縁部はヘラで面取りがなされている。

（253・254）は鬼瓦である。（253）は周縁の板の部分で、スタンプによる円形の陰刻文が施される。（254）は顔の部分の残欠である。

文字瓦（第46図、図版32）

（255・256・257）の三点にヘラ書きで記年銘が認められた。（255）は平瓦の凸面に「享保十年」（1725年）のヘラ書きと「七」のスタンプ、（256）は同じく「享保十年、巳六月十六日」のヘラ書き、また（257）は丸瓦の凸面に「大永三年四月」（1523年）のヘラ書きが施されている。

石製品（第40図、図版17）

（231）は砥石である。裏、表の二面を使用している。現存長13cm、使用面の幅2.8cm、重さ170gを測る。石材は粘板岩を使用している。

石臼（第47・48図、図版33・34）

粉挽き臼（258～267）は、10点出土している。上臼（258～265）が8点出土しており、上面のくぼみは全て削り出されているが、メの刻まれていないもの（264・265）もある。

メが刻まれているもの（258～263・266・267）では主溝の数により、8分画のもの（258・261～263）と7分画のもの（259・260）の二種類に分けることができる。

7分画のものは2点あるが両方共7分画4溝である。

8分画のものは4溝のもの（258・262）と5～6溝のもの（261・263）の2通りある。
胴部に挽き木受けの観察できるもの（260・264）が2点ある。

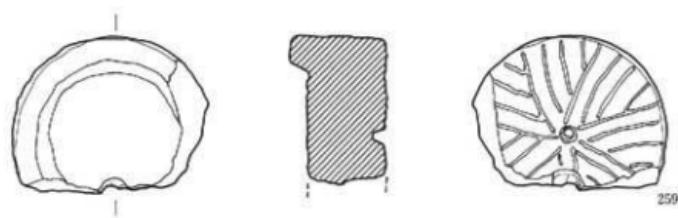
下臼（266・267）は2点出土しており、メのパターンは8分画4溝のもの（266）と8分画8溝のもの（267）である。（267）は中央部までメが及んでいない。（266）は芯棒孔が未貫通である。

石臼（258～266）は直径が30cm前後を測り、高さも14cm前後のものが多く見られる。したがって、ある程度の規格性の存在を指摘できるかもしれない。

直径40cmの大型のもの（267）や厚さ11cmの薄いもの（261）なども出土した。石材は全て和泉砂岩である。



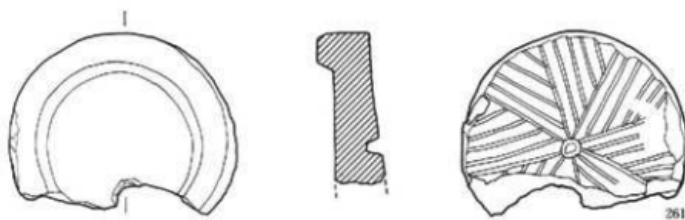
258



259



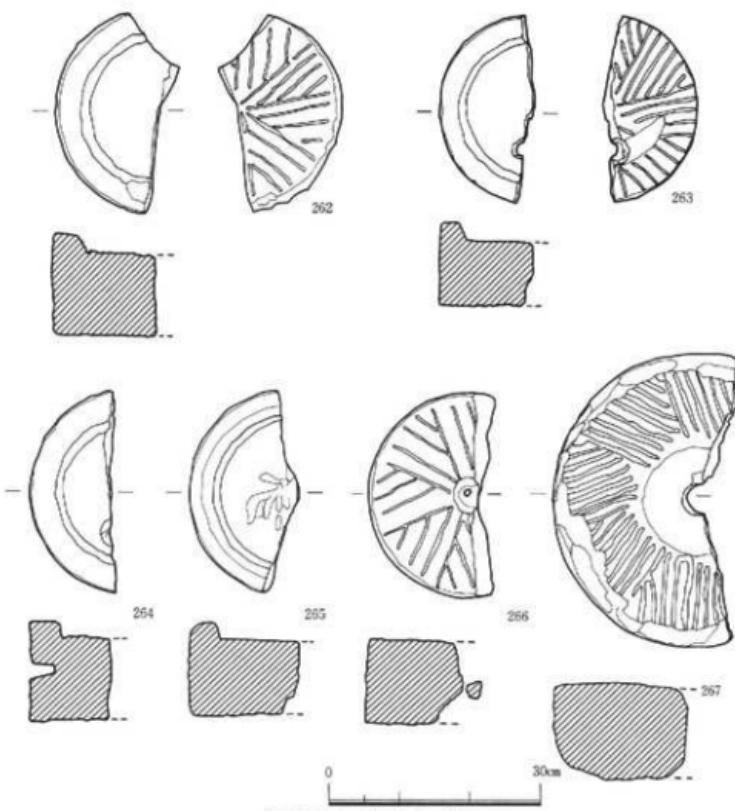
260



261



第47図 包含層出土石製品



第48図 包含層出土石製品

銭貨 (第49、図版17・表1)

今回の調査ではB区の包含層内より計5枚の銭貨が出土した。1は渡来銭の開元通宝で



第49図 銭貨拓影 (1 : 1)

ある。銭貨は縁を欠損し残りが悪い。裏面に鋳造地が表示されていないので初鋳造年621年のものと思われる。2~5はすべて寛永通宝である。

表(1) 銭貨一覧表

No	銭版番号	銭貨名	初鋳年	西暦(年)	直径(cm)	穿孔(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	出土地點	備考
1		開元通宝	唐・武德4年	621	2.5	0.75	0.11	1.1	K-22-L C	
2	國版17	寛永通宝	日本・寛永年間	1624~1644	2.35	0.61	0.11	2.4	K-22-J D	銅
3	國版17	寛永通宝	日本・寛永年間	1624~1644	2.1	0.68	0.13	1.0	K-22-J D	銅
4	國版17	寛永通宝	日本・寛永年間	1624~1644	2.21	0.64	0.10	1.2	K-22-L F	銅
5	國版17	寛永通宝	日本・寛永年間	1624~1644	2.35	0.63	0.12	2.3	K-22-L D	銅

石造遺物 (第50・51図、図版8・35・36、表8)

光背型板塔婆(268~272)は5点出土している。中央に五輪塔を刻むもの(268・270~272)と戒名を直接刻むもの(269)がある。なお五輪塔を刻むものは4点ともタイプが異なる。全て和泉砂岩製である。

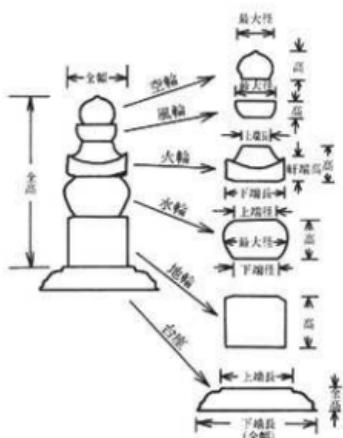
(273)は板碑である。中央に大日如來の種子を刻む。

(274~278)は一石五輪塔である。サイズにより、やや大型のもの(274・277)、小型のもの(276・278)、地輪部分が長足のもの(275)の三種に分けられる。全て和泉砂岩製である。

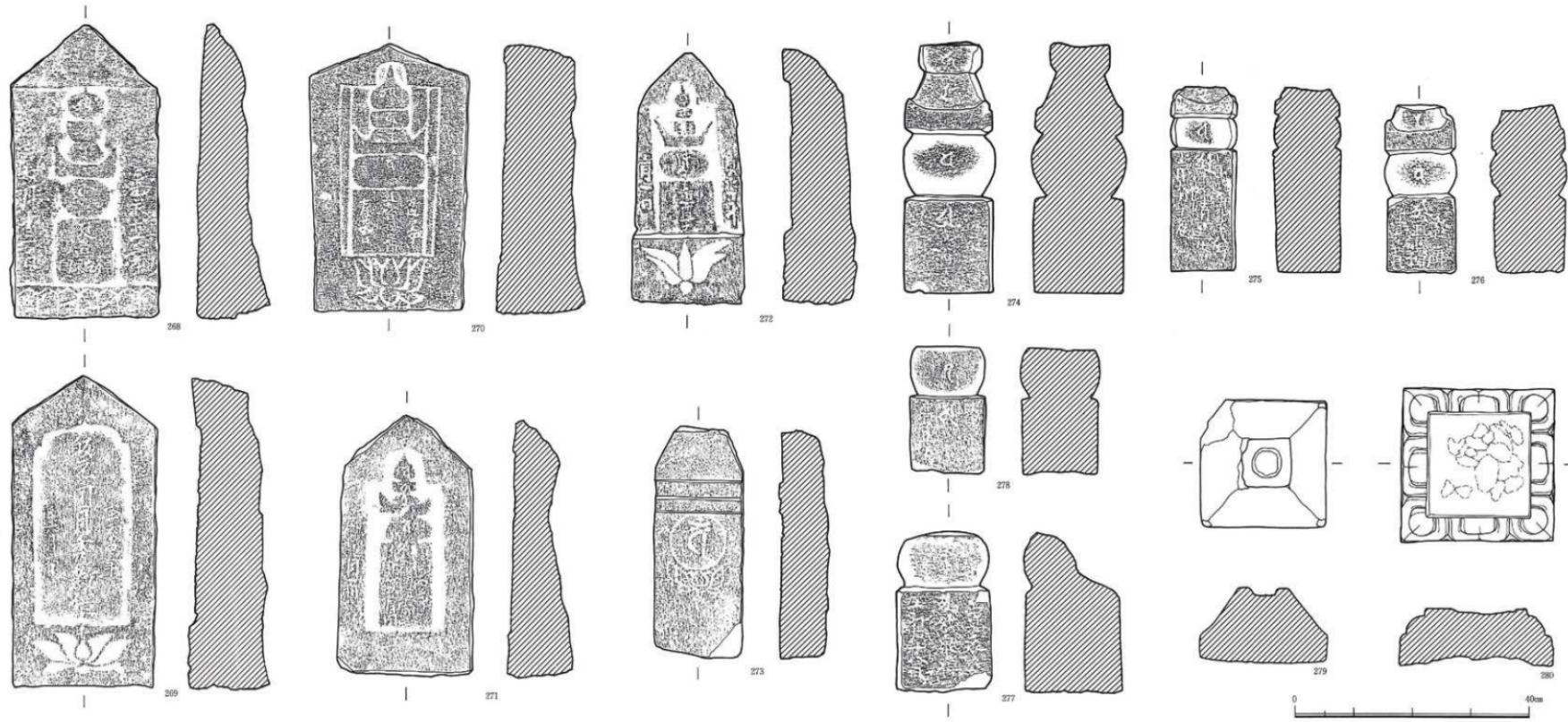
(279)は五輪塔の火輪の未製品である。

(280)は複弁の反花座である。石塔の台座であるが、石列に転用されていた。和泉砂岩製である。

石造遺物に刻された銘文の全容については表8を参照されたい。



第50図 五輪塔計測部位概念図



第51圖 包含層出土石製品

C区

B区の北側に位置する。調査前の地目は畠地であり、標高はT.P +32.4mを測る。

遺構は整地層上面において土壌、暗渠、鉄溝を検出し、下層面では礎石建物跡、瓦窓などを検出した。

3-OI (第52図、図版10)

K-22E Y・FY・GY・GA・HA・HB・IB・IC・JB・JC・ID・IE地区にかけて位置する。調査区内を南北方向に走り北側は削平されている。南側はL字状に曲げて、東方の調査区外に延びる。

検出全長33m、幅約0.4m、深さ0.4m前後を測る。埋土は7.5Y R5/6明褐色シルトで5cm前後の石を多量に含む。遺物は近世瓦、陶器の小片が出土した。

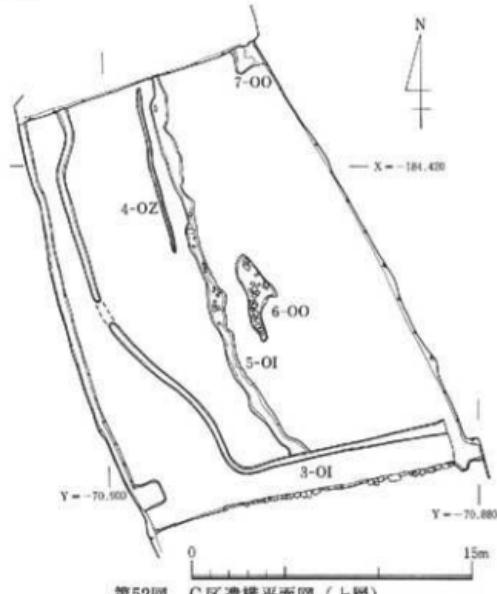
4-OZ (第52図、図版10)

K-22EA・FA・GA地区に位置し、5-OIと平行に走る。検出全長8.7m、幅0.2m、深さ4cm前後を測る。埋土は10Y R8/3浅い黄褐色シルトである。おそらく鉄溝と思われる。遺物は出土しなかった。

5-OI (第52図、図版10)

K-22EA・EB・FA・FB・GB・HB・HC・IB・IC地区にかけて位置し、調査区内を南北方向に走る。

北側を削平され、南側は3-OIに切られている。
検出全長21m、幅0.8m前後、深さ7cm前後を測る。
埋土は10Y R5/6黄褐色弱粘質シルトで5cm前後の礫を含む。遺物は出土しなかった。



第52図 C区遺構平面図 (上層)

6-OO (第52図、図版10)

K-22G B・G C・H B・H C地区に位置する。形状は、不整形を呈し、北から南方向に延びるものである。規模は、長軸で4.6m、短軸で約1mを測り、深さは5cmである。

埋土は、10YR 6/4に近い黄橙色シルトである。また、埋土からは大きさ20cm程度の石が多く出土した。遺物は出土しなかった。

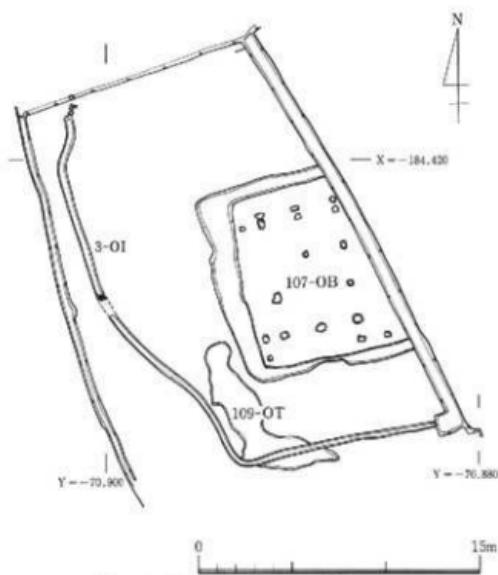
7-OO (第52図、図版10)

K-22D B地区に位置するが、遺構は東側を調査区外に延びており、北側は削平されているため、その全容は明らかではない。検出し得た部分の形状は、不整方形を呈するものと思われる。埋土は7.5YR 3/1黒褐色シルトで炭を多量に含む。遺物は出土しなかった。

107-OB (第53・54図、図版11)

K-22F B～F D・G B～G D・H B～H E地区にまたがって位置する礎石建物跡である。建物は東側を調査区外に延びており、その全容は明らかではない。

礎石は南北4箇所3間、東西3箇所2間以上が確認された。検出された範囲での規模は、南北6.5m、東西4.5mを測る。礎石間は南北2m、東西2mとほぼ同じである。



第53図 C区遺構平面図(下層)

方位は南北の礎石でN
-12°-Wである。

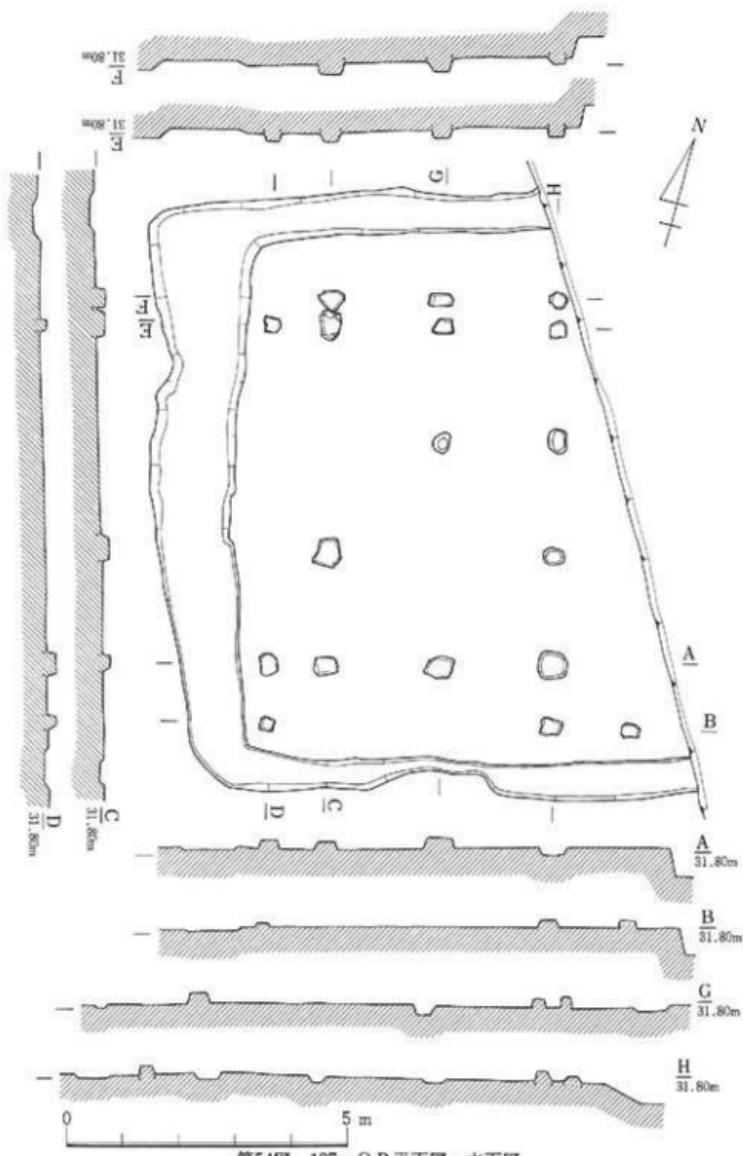
礎石は長径0.5m前後
の偏平な割石を整地した
面より掘り込んで置かれ
ている。

また、外側には底の礎
石と思われるものを検出
した。

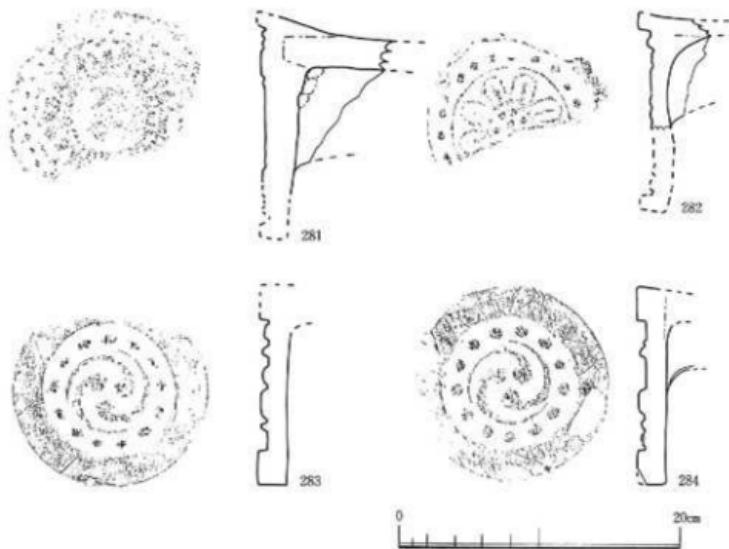
周囲には幅1m前後の
雨落ち溝をもつ。遺物は
出土しなかった。

109-OT (第53図、
図版11)

K-22H B・I B～I
D・J C地区に位置する



第54図 107-O B 平面図・立面図



第55図 109-OT出土遺物

瓦淵である。平面形は不定形で、長軸7.8m、短軸1.5m、深さ8cm前後を測る。遺物は瓦の小片が多量に出土した。

109-OT出土の瓦 (第55図、図版26・27)

(281～284) は軒丸瓦の瓦当である。(281) は複弁式蓮華文を内区文様にもつものと思われる。花弁は12単位で、珠文は34単位と思われる。

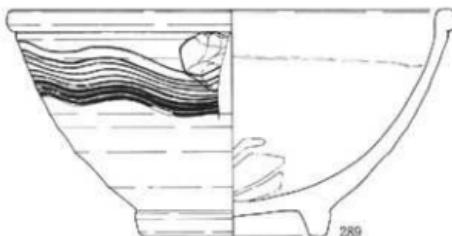
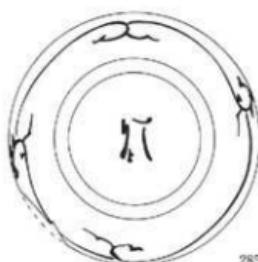
(282) は8単位の単弁式蓮華文を内区文様とする。

(283・284) は内区文様に巴文をもつ軒丸瓦である。巴は全て左巻きである。外区の珠文帯は13単位である。

C区包含層の遺物 (第56図、図版17・24)

(285・286・288) は染付皿である。(285) は内側面に扇をあしらった草花文を描き、見込みにコンニャク印判による五弁花文を描く。外側面には唐草文が巡り高台裏には吳須銘をもつ。

(286) は内側面には扇文、見込みにはコンニャク印判の五弁花、外側面は(285)と同様唐草文が巡り高台裏には「～製」の文字が描かれる。



0 15cm

第56図 C区包含層出土遺物

(287) は碗である。内面無文であり、外側面に草花文、高台外側に圈線が巡るだけである。

(288) は内側面に白抜きで波状を表現する。この白抜き部分は須を素地ごと削りとっている。見込みにはコンニャク印判の五弁花文を配す。外側面は圈線と唐草文の組み合わせである。(285～288) は共に伊万里焼である。

(289) は唐津焼の片口鉢である。高台は削り出しており、口縁端部は玉縁状に仕上げている。白濁釉を内面見込みより、外面体部中位まで施釉した後、9本単位の櫛状工具で外面体部上半に波状文を施す。さらにその後濃緑釉を内面見込みより口縁部外側面まで施釉する。見込みの一部は濃緑釉をかけ残し、白濁釉をのぞかせている。露胎部は化粧がけが行なわれていると思われる。

D区

調査区のはば中央部にあたる。調査前の地目は畠地であり、調査前の標高はT.P +31.4m前後を測る。遺構は土壇と井戸を検出することができた。

8-00 (第57図、図版12)

D区中央部のK-21AX・AY地区にまたがって検出した。24-OWの東側に位置する



第57図 D区遺構平面図

土壤である。平面形は、梢円形を呈し、長径約2.9m、短径約1.4m、深さ0.65mを測る。

埋土は10Y R7/8黄褐色シルトである。遺物は瓦が数点出土しただけであった。

24-OW (第57・58・59、図版12・17)

D区東端のK-21BX地区において検出した。円形の石組み井戸である。上半分の石組みは崩れており、下半分の構造のみ検出することができた。検出面での掘方は円形で、直径約1.4m、深さ1.35m前後を測る。

石組みは砂岩の割石積みで、基底部にはやや大きな石材を用いている。遺存している最上部での石組みの径は約0.6mを測る。

遺物は埋土中から砥石(293)および染付・磁器・陶器の細片が少量出土した。

遺物 (第59図、図版17)

(293)は粘板岩製の砥石である。重さ350g、現存長18.3cm、最大現存幅6.8cmを測る。使用が著しく、原形をとどめていない。

D区包含層の遺物 (第59図、図版17・24)

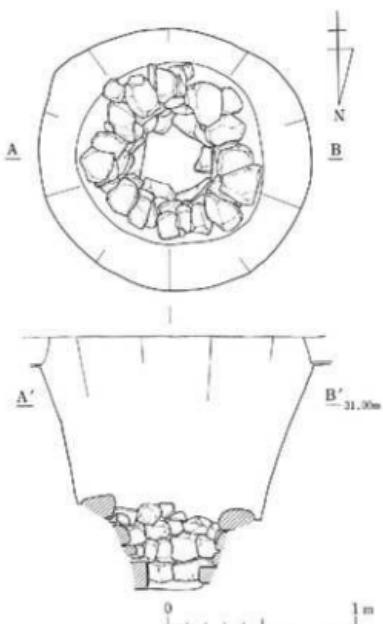
(290)は染付碗である。外面底部に梅花文を施す。伊万里焼である。

(291)は京焼系陶器の碗である。外面底部高台脇より下を露胎とする。内面見込み胎葉下に薄く鉄絵がみら

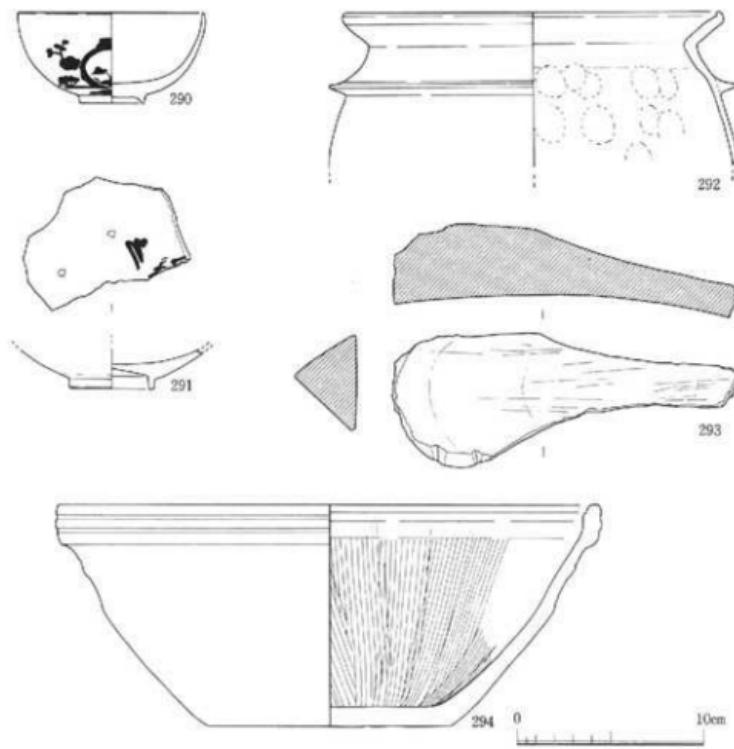
れる。また見込み中央に3箇所の目跡を残し、施釉部分全面に細かい貫入をもつ。(292)は土師質の土鍋である。胎土には砂粒が多く含まれる。(294)は備前焼の摺鉢である。

E区 (第60図)

E区はD区の北側に位置する。調査前の地目は水田および畑地であり、調査前の標高はT.P.+30.5~31.0mを測る。E区では、近~現代の削平が著しく、遺構は検出できなかっ



第58図 24-OW平面図・立面図



第59図 D区出土遺物

た。遺物も染付、磁器、陶器の細片が少量出土しただけだった。

F区（第61図）

E区の北側に位置する。調査前の地目は水田であったと思われるが、非常に水はけの悪い水田で沼状になっていた。調査前の標高はT.P +28.7m前後を測る。遺構は溝、土壌等を検出することができた。

22-O S（第61・62図、図版13・17）

F区のK-16R U~R Y・QU・Q X・Q Y・PT・PU・OT・NT地区にまたがって検出した。全長は31.5mで、幅約0.8m、深さ0.3m前後を測る。溝は調査区内の南側と西側をL字状に走り、東側と北側の両端を調査区外にのばす。埋土は10G Y4/1暗緑灰色

粘土である。

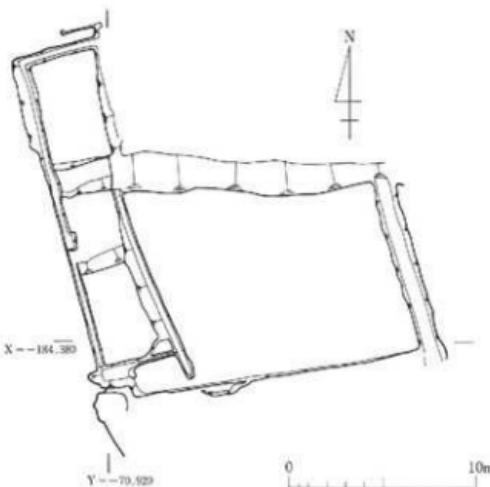
遺物は近世瓦・石製硯
(295) を出土した。

(295) はK-16R X地区で出土した硯である。硯は硯池(海)の部分を欠損する。現存長11.1cm、幅4.2cm、高さ1.7cmを測る。

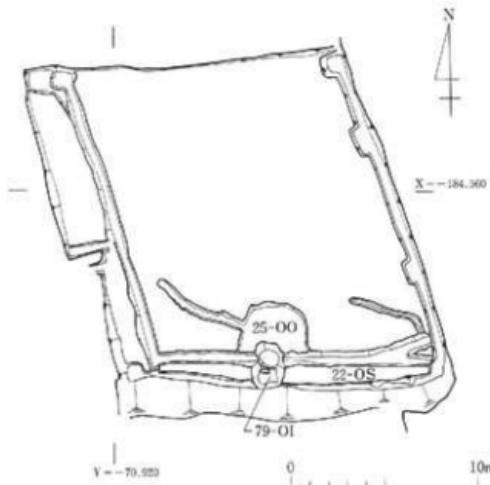
表面の中央部分(墨道)が使用によりすり減っている。底面と左・右の両側面に「大阪硯……」などの線刻銘をもつ。

25-OO (第61図、図版13)

F区南端のK-16Q V・QW・RV・RW地区にまたがって検出した土壤である。土壤は22-OSによって中央部より南側を切られているため全容は不明である。径は約3.6m、深さ20cm前後を測る。また、25-OOより西侧に延びる溝も合せて検出した。近世瓦を少量出土した。



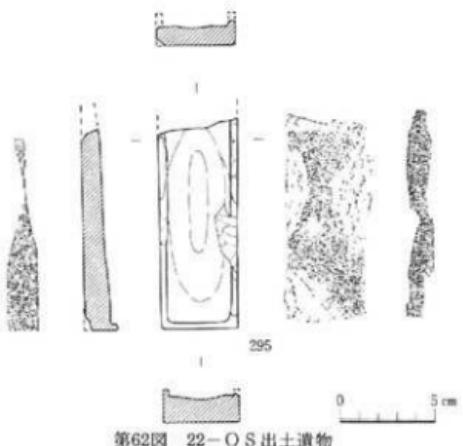
第60図 E区平面図



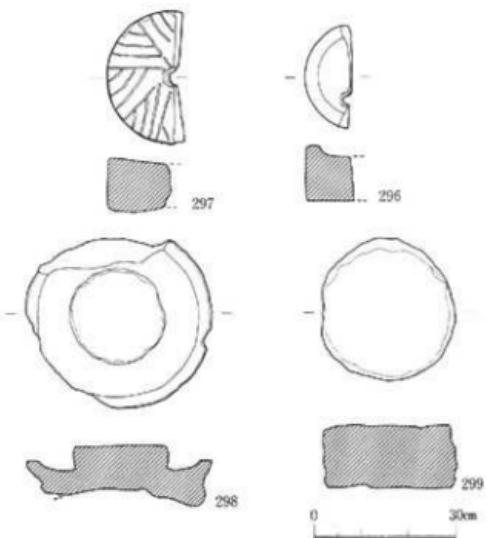
第61図 F区遺構平面図

79-OI (第61図、図版13)

22-OS・25-OOを切るような形で作られている。南北2.2m、東西1.5m、深さ0.4



第62図 22-O S 出土遺物



第63図 79-O I 出土遺物

の遺構も上部を削平されており、残りはあまりよくなかった。

m前後を測る。79-O I
は22-O Sに付随する施
設（溜柵）と思われる。

遺物は石臼（296～299）
が出土した。

石臼（第63図、図版
34）

粉挽き臼（296・297）
と茶臼（298）未成品（2
99）の4点が出土してお
り、（297）は8分画4
溝が刻まれている。上臼
（296）は直径21.6cmの
小型のもので、くぼみは
削り出しによるものであ
る。（298）は茶臼の下
臼である。ノが刻まれて
いない。石材はすべて和
泉砂岩である。

G区（第64図、図版
13）

調査区の北端に位置す
る。調査前の地目は畠地
であり、調査前の標高は
T.P + 29.0m前後を測
る。遺構は土壌、ピット、
溝などを検出するこ
とができる。しかし、いざれ

12-O P (第64図)

K-16K T 地区において検出した。径約25cm、深さ10cm前後を測る。埋土は7.5Y6/1灰色弱粘質シルトである。遺物は瓦器の細片が1点出土した。

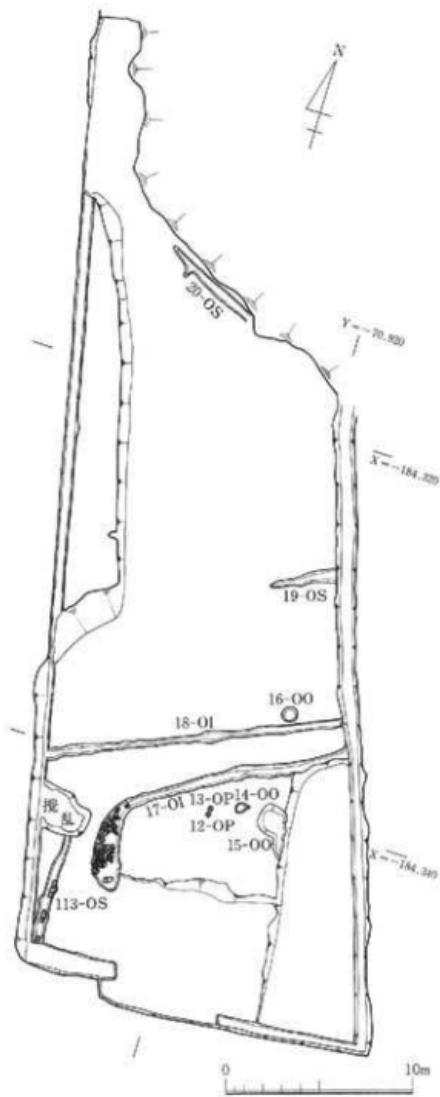
13-O P (第64図)

12-O P の北側のK-16K T 地区において検出した。径約25cm、深さ8cm前後を測る。埋土は7.5Y6/1灰色弱粘質シルトである。遺物は出土しなかった。

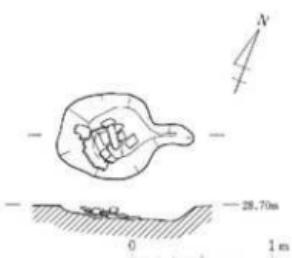
14-O O (第64・65・66図、図版17)

K-16K U に位置する。平面形は不整円形を呈するが、東側の中央部に短い突出部がある。長軸0.98m、短軸0.6m、深さ10cm前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトの1層である。遺物は土師質の甕、砥石が出土した。

(300) は土師質の甕の底部である。外面に粗い叩き目、内面は刷毛目を残す。所謂湊焼き甕である。(301) は砥石である。現存長18cm、現存最大幅4.5cm、重さ580gを測る。凝灰岩製と思われる。



第64図 G区遺構平面図



第65図 14-OO平面図・立面図

15-OO (第64図)

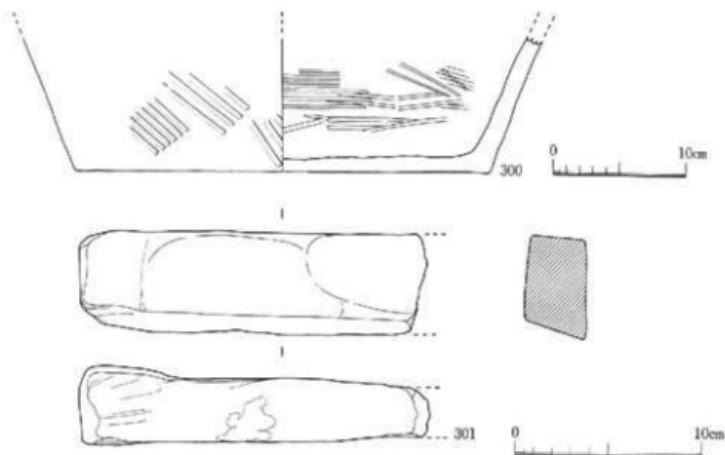
K-16 J U・K U・K V地区に位置する。平面形は不整円形を呈するが、南側に突出部がある。長軸2.8m、短軸0.6m、深さ0.2m前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトの1層であるが、土壤の中央部に赤褐色の焼土を含んでいた。遺物は出土しなかった。

16-OO (第64図)

K-16 I U地区に位置し、平面形は円形を呈する。直径0.8m、深さ0.2m前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトである。遺物は近世瓦の細片が出土した。

17-OI (第64図、図版13)

K-16 J T～J V・K S・K T・L S・L T地区に位置する。調査区内を北東から南西方向に走り、北東側を調査区外に延びる。調査区内検出長17.0m、幅0.4～1.5m前後、深さ10cm前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトの1層で、0.3m前後の石が多量に出土した。遺物は近世瓦の細片が出土した。



第66図 14-OO出土遺物

18-O I (第64図、図版13)

K-16T U・I V・J R～J U・K R地区に位置する。調査区内を北東から南西方向に走り、両端を調査区外に延ばす。調査区内検出長16m、幅0.4m前後、深さ10cm前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトである。

19-O S (第64図、図版13)

K-16G U・H T・H U地区に位置し、調査区内を北東から南西方向に走り、東側を調査区外に延ばす。調査区内検出長3.8m、幅0.7m前後、深さ10cm前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトである。遺物は出土しなかった。

20-O S (第64図)

K-16D R地区に位置し、調査区内を東西方向に走る。調査区内検出長5.4m、幅0.5m前後、深さ2cm前後を測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色シルトである。遺物は出土しなかった。

113-O S (第64図、図版13)

K-16L S・M S地区に位置する。調査区内を南北方向に走る。北側を攢乱によって切られ、南側は調査区外に延ばす。調査区内検出長6.0m、幅0.5m前後、深さ5cm前後を測る。遺物は出土しなかった。

G区包含層の遺物 (第67図・図版24)

(302・303) は染付碗である。厚手で全面施釉。高台置付の釉を割り取っている。2点共外面体部に草花文を描き、高台外面には圓線が巡る。高台裏には(302)にみられる「大明年製」のくずし文字などの銘がみられる。伊万里焼で所謂「くらわんか手」と称される一群である。

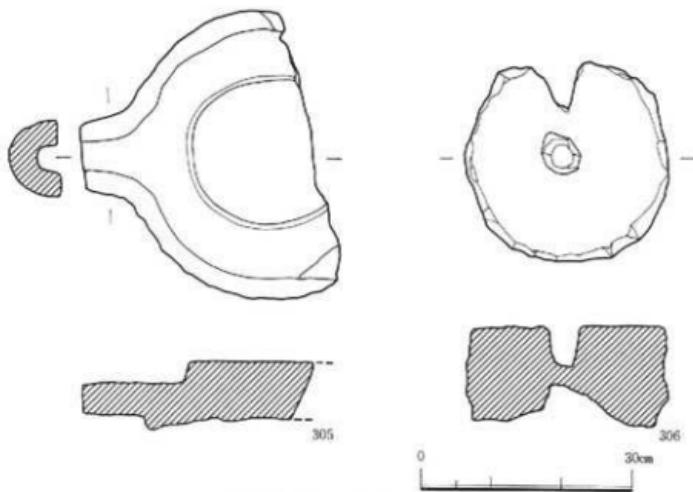
(304) は18-O Iより出土した土師質小皿である。口縁端部はヨコナデ調整、底部は指おさえである。内外面に煤が付着している。

石臼 (第68図、図版34)

G区より2点出土している。(305) は下臼であるが、受け皿部分に片口をもつ。メは刻まれていない。(306) は円柱状の石材である。(306) は中心に末貫通の孔をもつ。なお、(305) は通称「ミソ臼」あるいは「汁臼」などと呼ばれるものと思われる。石材は和泉砂岩である。



第67図 G区包含層出土遺物



第68図 G区包含層出土石製品

第V章 ま　と　め

今回の調査は、1号進入路建設予定地にかかる全長約250m、幅約12mにわたって調査をおこなった。調査区内では近～現代の削平が著しく、遺構の遺存状況はあまり良好ではなかった。ここでは、今回の調査結果を中心に、本遺跡を簡単に整理してまとめにかえたいたい。

本遺跡では中世以前の遺構・遺物は検出されていないが、昭和60年度の分布調査では、縄文時代から江戸時代にかけての遺物が採集されている。また、現在の舞幼稚園の所在する東側斜面部分では3基の円墳からなる塚谷古墳群が所在することなどから考えると、中世以前の遺跡が近くに存在していた可能性が考えられる。

今回の調査で一定のまとまりをもって検出される遺構・遺物は、鎌倉時代になってのことである。鎌倉時代を中心とする遺構は、B区で検出された礎石をもつ建物（100-O B）、石積み遺構（78-O X）などである。B区では平安時代後期と思われる瓦が出土することなどから、100-O Bは平安時代末から鎌倉時代前期に創建されたと推定できる。

また、B区とC区を区画する78-O Xの方向が100-O Bと一致する事などから、78-

OXは100-O Bの北側を区画するために作られたものと思われる。

近世以降の遺構としては、B区で検出された23-OW、26-OO、31-OO、82-85-OX、87-OXなどが考えられる。しかし、これらに伴なう建物等については削平されているため不明である。26-OOの四方に礎石が検出されており、26-OOの埋設施設は上屋をもつものと考えられる。

この他、近世以降の遺構と思われるものはD区24-OW、G区14-OOなどがある。14-OOについては、土師質の窯焼き甕の底部が掘えられた状態で出土したことなどから、埋蔵として機能していたものであろう。

次に金剛寺遺跡を遺物からみると土師質皿と瓦器碗が100-O Bの床面より出土しており、土師質皿の底部処理方法は回転糸切りが多い（第10図1～6、9～11）。この底部回転糸切りの手法は、和泉山脈を隔てた紀伊国で14世紀代まで見られる手法で、紀伊国に特徴的な手法であるとの報告もある。⁽¹⁾しかし、共伴する瓦器（第10図12～14）は和泉国でよく見られるものであり、また同じく共伴する土師質台付皿（第10図9～11）も底部回転糸切り痕を有してはいるが、紀伊国では出土例をみない。以上のことからこの一群の土師質皿は紀伊国の影響を受けた在地産である可能性が考えられる。寺院関係の遺物と考えられるものは、瀬戸灰釉香炉（第22図78）、灰釉燭台（第22図77）であり、「茶ノ湯」関係の瀬戸天目茶碗、中国製青磁碗なども出土している。いずれも14世紀代の遺物と思われる。また、土師小皿に墨書きで密教法具である三鉢符を十字に配した、所謂「萬福文」を内底部に描くもの（第22図67・68）がある。紀伊国根来寺が高野山に比肩する真言密教の道場であることなどから、宗教的にも和泉国金剛寺は紀伊国根来寺の勢力下にあったものと推定できる。

以上のことから、金剛寺遺跡は平安末から鎌倉時代前期ごろに建立され、すでにこの時期より紀伊国との関係をもっていたと推測される。しかし15～16世紀を通じての遺物の出土量が少ない。推論の域を出ないが、和泉国金剛寺は、輸入陶磁器を受け入れ難い状況があったのか、もしくはその勢力が衰縮したのかもしれない。金剛寺遺跡は今だ不明な点が多く、今後の周辺調査の進展が期待される。

(1) 渋谷高秀「紀伊・11～14世紀代・日常雜器類の編年」『和歌山県埋蔵文化財情報17 1985年』社団法人和歌山県文化財研究会

(2) 尾上実「大阪南部の中世土器—和泉型瓦器碗—」『中近世土器の基礎研究No.1 1985年』日本中世土器研究会

(3) 大阪府埋蔵文化財協会渋谷高秀氏から御教示。

表2 出土遺物観察表

件名番号	器種	出土地点	大きさ (cm)	色調	特徴	備考		
1284-1 1484	土 盆 鉢 皿	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 底径 (底)	14.4 4.0 8.0	内面 外面 断面 内面 外面 断面	10YR 8/4浅黄褐色 10YR 8/3浅黄褐色 10YR 8/4浅黄褐色	底或中や微 側面コロナゾ 底部凹板系切	残存80%
1284-2	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	14.6 2.55 9.2 (底)	内外面 断面	10YR 8/3浅黄褐色 2.5Y 8/3浅黄色	第1284-1と同じ	残存90%
1284-4 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	15.0 3.9 11.0 (底)	内面 外面 断面	7.5YR 7/6緑色 7.5YR 8/4浅黄褐色 -	第1284-1と同じ	残存80% 反板復元
1284-3 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	13.3 3.7 7.7 (底)	全面	7.5YR 7/6緑色	第1284-1と同じ	残存80%
1284-5 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	9.5 2.1 —	全面	7.5YR 7/6にぶい緑色	第1284-1と同じ 底或切の後削れ見え	残存50% 部分反板
1284-6 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	9.4 1.6 6.4 (底)	内面 外面 断面	7.5YR 8/4浅黄褐色 5YR 8/4浅黄褐色 7.5YR 8/4浅黄褐色	第1284-1と同じ	残存95%
1284-7 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	9.4 1.5 5.2 (底)	内外面 断面	10YR 8/3浅黄褐色 2.5Y 8/3浅黄色	第1284-1と同じ	残存90% 反板復元
1284-8 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	9.9 1.6 7.1 (底)	内外面 断面	10YR 8/3浅黄褐色 2.5Y 8/3浅黄色	微減数 底削れ見え	残存80% 部分反板
1284-9 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	10.8 2.9 4.8	全面	5YR 7/6緑色	第1284-1と同じ	残存50% 反板復元 高台付銀
1284-10 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	10.6 2.7 5.8	内面 外 断面	10YR 8/3浅黄褐色 10YR 8/4浅黄褐色 10YR 8/4浅黄褐色	第1284-1と同じ	残存80% 反板復元 高台付銀
1284-11 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	9.0 2.9 4.9 (底)	全面	10YR 8/4浅黄褐色	第1284-1と同じ	残存90% 高台付銀
1284-12 1484	瓦 器 皿	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	8.4 3.45 3.9	内外面 断面	N 5/0灰色 N 6/0灰白色	ミズキ半塑形 斜付け高台 壁或中や底 高台が凸く断面は台形を呈す 内面文 外面削れ見えとす方手	残存50% 反板復元
1284-13 1484	x	B区 K-22KD+LD	口径 (底) 高 底径 (底)	8.2 2.7 3.4	内外面 断面	10YR 4/1褐色 2.5Y 8/6黄色	ミズキ半塑形 斜付け高台 残成中や底 基部が細く、底台が黒化している	残存90%

辨別番号	測定範囲	出土地点	基準量 (α)	色調	特徴	備考		
1208- 14 14回	瓦 基盤 瓶	B区 K-22KD+LD	口徑 基高 底径 —	15.6 4.55 4.5 —	内面 外側 断面 —	N 4/0灰白色 N 7/0灰白色 2.5Y 8/3淡黄色 —	ミズビキ成型 粘付高台 滑度中等 高台は変化し断面が三角形を呈す 内面平行線暗文 外面部おさえの後ミガキ	残存90% 含み火 二次焼成の可 能性
2208- 64 14回	土 加 基 盤 瓶	B区 K-22MG	口徑 基高 底径 —	9.05 1.8 6.6 —	全面 — — —	5 YR 6/6橙色 — — —	焼成やや軟 側面ヨコナデ 内外面に焼付着	残存80% 含み火 灯明暗
2208- 65 14回	*	B区 K-22LC+LD	口徑 基高 底径 —	8.1 1.6 6.8 —	全面 — — —	10 YR 8/3浅黄褐色 — — —	焼成やや軟 側面ヨコナデ 底部部おさえ	残存90% 含み火
2208- 66 14回	*	B区 K-22LD	口徑 基高 底径 —	7.7 1.65 5.5 —	全面 — — —	5 YR 6/6橙色 — — —	焼成やや軟 側面ヨコナデ 底部部おさえ	残存95% 含み火
2208- 67 14回	*	B区 K-22LD	口徑 基高 底径 —	7.3 18.0 5.6 —	内外面 断面 — —	10 YR 8/3浅黄褐色 7.5YR 8/4浅黄褐色 — —	焼成良好 側面ヨコナデ 底部部おさえ 内面に墨書きの陽文(十字に三斜角)	残存70%
2208- 68 *	B区 K-22LD	口徑 基高 底径 —	7.4 1.45 5.5 —	内外面 断面 — —	7.5YR 8/3浅黄褐色 7.5YR 8/4浅黄褐色 — —	第2208-67と同じ	残存80%	
2208- 69 *	B区 K-22LD	口徑 基高 底径 —	11.3 2.25 — —	内外面 断面 — —	2.5Y 8/4淡黄色 2.5Y 8/3淡黄色 — —	第2208-65と同じ	残存70%	
2208- 70 14回	*	B区 K-22LD	口徑 基高 底径 —	10.9 2.6 — —	全面 — — —	10 YR 8/2灰白色 — — —	第2208-65と同じ	残存60%
2208- 71 14回	X 基 盤 瓶	B区 K-22LD	口徑 基高 (底) 底径 —	14.0 3.2 — —	内外面 断面 — —	10G Y 6/1灰白色 5 Y 8/3淡黄色 — —	ミズビキ成型 焼成やや軟 内面ミガキ 外面部おさえ	残存60%
2208- 72 *	B区 K-22NG	口徑 基高 底径 —	14.9 2.7 — —	内外面 断面 — —	10Y 7/1灰白色 10Y 8/1灰白色 — —	ミズビキ成型 焼成良好 粘付高台は変化し断面を呈す 外面部おさえ	反転復元	
2208- 73 *	B区 K-22KD	口徑 (底) 基高 底径 —	14.8 5.0 5.0 5.4 —	内外面 断面 — — — —	10Y 5/1灰白色 5 Y 8/3淡黄色 — — — —	ミズビキ成型 焼成軟 粘付高台は低いが断面は台形を呈す 内面平行線暗文 外面部複数な凹おさえ	反転復元	
2208- 74 14回	瓦 基 盤 瓶	B区 K-22QII	口徑 基高 底径 —	9.2 1.85 7.4 —	内面 外側 断面 —	10Y 5/1灰白色 5 Y 4/1灰白色 10Y 7/1灰白色 —	第2208-66と同じ	残存40%
2208- 75 *	土 加 基 盤 瓶	B区 K-22JE	口徑 (底) 基高 底径 —	— 4.0 4.0 — —	内外面 断面 — — — —	10YR 6/3に近い黄褐色 10YR 6/4に近い黄褐色 — —	焼成軟 内面ヨコナデ 外面ヘラケズリ	二ね跡
2208- 76 *	B区 K-22OG	口徑 (底) 基高 底径 —	— 4.5 4.5 — —	内外面 断面 — — — —	N 3/0灰白色 7.5Y 3/2灰褐色 — —	第2208-75と同じ	二ね跡	
2208- 77 16回	陶 基 盤 台	B区 K-22OE	口徑 (底) 基高 底径 —	8.8 3.4 3.4 —	内外面 断面 — — — —	5G 7/1暗緑色より 5Y 8/2灰白色 — —	ミズビキ成型 焼成良好 直腹と鋸形の結合部あり 直底部に穴孔 口縁端に焼付着	直腹・直口 細かい貫入

規格番号	基 礎	出 土 地 点	深 度 (cm)	色 調	特 徴	備 考		
2284- 78	陶器 香炉 灰	BK K-220 E	11径 (径) 基高 底径 (径)	15.0 13.6 8.4 (径)	内外面 内面 外側部 断面 内面	5G Y 7/1明緑灰色上 りややかな緑色 5Y 8/3淡黄色 7.5Y 8/1灰白色	ミズキ成形 滲成良好 外底部分近ヘラケズリ 内面全体より外面高台部まで施釉	反転製元 美濃・瀬戸系 細かい質入
2284- 79	青 磁 瓶	BK K-222 C	口径 基高 底径 (径)	— 2.2 4.7	内面 外側 断面 内面	10Y 6/2オーリーブ灰 色 10Y 5/2オーリーブ灰 色 10Y 8/1灰白色	第35回- 157と同じ 内面墨込みに仰花文	高台のみ 100 丸底台 中国盤
2284- 80	陶器 香炉 灰	BK K-222 E	11径 基高 底径 (径)	— 3.5 —	内外面 内面 外側部 断面 内面	7.5Y R 5/4に赤い緑色 2.5Y 8/1灰白色	ミズキ成形 滲成良好 全面施釉 ボコナテ調整	美濃・瀬戸系 天目系釉
2284- 81	信 州 質 体	BK K-222 E	11径 基高 底径 (径)	— 2.5 —	全面	N 6/0灰色	滲成良好 ボコナテ調整	安曇系
2284- 82	陶器 香炉 灰	BK K-222 N P + NG	口径 基高 底径 (径)	— 4.9 —	内面 外側 断面 内面	2.5Y 8/1灰白色 7.5Y R 6/4に赤い緑色 5Y R 5/4に赤い緑 色		指認
2684- 83	瓦 都 構 成	AK K-222 K	口径 基高 底径 (径)	15.0 4.5 4.6	全面	N 5/0灰色	滲成やや軟 黏付高台 外面墨書き 内面平行縞刷文	既存80% 重み大
2684- 84	瓦 都 構 成	AK K-222 K	口径 基高 底径 (径)	14.3 4.45 4.1	全面	N 5/0灰色	滲成やや軟 黏付高台	既存70% 重み大
3084- 85	磁 器 構 成	BK K-222 C	口径 基高 底径 (径)	9.4 3.6 3.5	内外面 内面 外側部 断面 内面	7.5G Y 8/1明緑灰色 り白い N 8/0灰白色 10B G 7/1暗青灰色	ミズキ成形 ケズリ出し高台 滲成良好 高台内「明治年製」の其銘記 外面草文 全面施釉	既存50% 反転製元 伊万里系染付
3084- 86	*	BK K-222 B + C	口径 基高 底径 (径)	10.5 3.9 4.1	内面 外側 断面 内面	7.5G Y 8/1明緑灰 色 7.5G Y 8/1明緑灰 色 10Y 8/1灰白色 10B G 6/1青灰色	第30回- 86と同じ 高台部分墨書きケズリとり	既存80% 伊万里系染付
3084- 87	*	BK K-222 D + J D	口径 基高 底径 (径)	10.0 6.0 4.1	内面 外側 断面 内面	7.5G Y 8/1明緑灰色 り白色に近い 10G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 10B G 6/1青灰色	第30回- 85と同じ	既存50% 部分反転 伊万里系染付
3084- 88	*	BK K-222 M + N E	口径 基高 底径 (径)	10.3 6.2 4.4	内外面 内面 外側部 断面 内面	10G Y 8/1明緑灰色 り白色に近い 10G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 10B G 7/1明緑灰色 り青が強い	第30回- 85と同じ 高台部分の墨ケズリとり	既存30% 反転製元 伊万里系染付
3084- 89	*	BK K-222 K	口径 基高 底径 (径)	10.1 6.0 4.1	内面 外側 断面 内面	7.5G Y 8/1明緑灰色 10G Y 8/1明緑灰色 10G Y 8/1明緑灰色 10B G 7/1暗青灰色	第30回- 85と同じ 高台部分の墨ケズリとり	既存30% 反転製元 伊万里系染付
3084- 90	*	BK K-222 C	口径 基高 底径 (径)	10.4 5.9 4.6	内外面 内面 外側部 断面 内面	7.5G Y 8/1灰白色より 白色に近い N 8/0灰白色より 白色 10B G 6/1青灰色より 青味が強い	第30回- 85と同じ 高台部分の墨ケズリとり	既存30% 反転製元 伊万里系染付

辨認番号	事 種	日 本 地 点	高 度 (m)	色 調	特 徴	備 考	
30IE- 91 18IE	福 壽 菊	B区 K-22KF	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.0 内面 外面 断面 具頭 4.2	N 8/1灰白色 N 8/1灰白色 2.5G Y 8/1灰白色 5B 7/1明緑灰色よ り青味が強い。	第30IE-85と同じ	残存60% 部分反転 伊万里系染付
30IE- 92 18IE	"	B区 K-22JD + JD	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.4 内外面 断面 具頭 4.1 (度)	5 G Y 8/1明緑灰色 2.5G Y 8/1灰白色 10B G 6/1青灰色	第30IE-85と同じ	残存50% 反転反転 伊万里系染付
30IE- 93 "	B区 K-22JD	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.4 内面 外 断面 具頭 4.1	10G Y 8/1明緑灰色よ り白い 10G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 5B 5/1青灰色	第30IE-85と同じ	残存60% 反転反転 伊万里系染付	
30IE- 94 "	B区 K-22ME	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.8 内外面 断面 具頭 4.4	5 B 7/1明緑灰色 5 B 7/1青灰色 5 B 5/1青灰色	第30IE-85と同じ	残存40% 部分反転 伊万里系染付	
30IE- 95 "	B区 K-22JB	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.6 内外面 断面 具頭 4.6	7.5G Y 8/1明緑灰色 10G Y 8/1明緑灰色よ り白い 5 B 5/1青灰色よ り青味が強い。	第30IE-85と同じ 高台役付の脚アズリとり	反転反転 伊万里系染付	
30IE- 96 "	B区 K-22LF + LG	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.6 内外面 断面 具頭 4.0	7.5G Y 8/1明緑灰色 10G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 5 B 7/1青灰色	第30IE-85と同じ	残存50% 反転反転 伊万里系染付	
30IE- 97 18IE	B区 K-22LF	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.0 内面 外 断面 具頭 3.8	10G Y 8/1明緑灰色よ り白い 7.5G Y 8/1明緑灰色 10Y 8/1灰白色 10B G 4/1青灰色	ミズギキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 外面草花文 全面施釉 高台役付の脚アズリとり 高台内くずし文字による炎距離	残存80% 伊万里系染付	
30IE- 98 "	B区 K-22ND	口徑 (度) 基高 度 度 度	9.8 内外面 断面 具頭 4.1	10G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 10B G 5/1青灰色	第30IE-97と同じ 全面に黒い貫入あり	残存60% 反転反転 伊万里系染付	
30IE- 99 18IE	B区 K-22LF	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.5 内外面 断面 具頭 4.6	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 10B G 7/1青灰色よ り青い	第30IE-97と同じ	残存50% 反転反転 伊万里系染付	
31IE- 100 18IE	B区 K-22JB	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.8 内外面 断面 具頭 4.5	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 10B G 6/1青灰色よ り青い	第30IE-97と同じ	完形 伊万里系染付	
31IE- 101 "	B区 K-22JB	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.4 内外面 断面 具頭 4.6	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 N 8/0灰白色 5 B 7/1明緑灰色よ り青やかで青色	第30IE-97と同じ	残存30% 反転反転 伊万里系染付	
31IE- 102 18IE	B区 K-22LB + JC	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.0 内外面 断面 具頭 4.2	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色よ り青い 7.5G Y 8/1明緑灰色 10B G 7/1青灰色	ミズギキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 高台役付の脚アズリとり 外面草花文 高台内くずし文字による炎距離	残存50% 反転反転 伊万里系染付	
31IE- 103 "	B区 K-22ME + NE	口徑 (度) 基高 度 度 度	10.2 内面 外 断面 具頭 4.2	5 G Y 8/1灰白色 7.5G Y 8/1明緑灰色 2.5G Y 8/1灰白色 5 B 7/1明緑灰色よ り青い	第31IE- 102と同じ 外面草花文	残存30% 反転反転 伊万里系染付	

新規番号	基 種	出 し 場 点	法 (α)	色 調	特 徴	備 考	
31回- 104	姫 若 病	BK K- 22MF	口徑 基高 (機) 底径 (機)	— 内外面 N 4.3 断面 具置 4.0 (機)	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 N 8/1灰白色 10B G 6/1青灰色より 白い	第31回- 102と同じ 外面草花文	残存40% 反転鏡元 伊万里系染付 全面に無い貴人
31回- 105	*	BK K- 22L E	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.0 5.1 4.2 (機)	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 断面 2.5G Y 8/1灰白色 具置 3.8G 7/1青灰色	第31回- 102と同じ 外面草花文 底付部に破砂付有	残存40% 反転鏡元 伊万里系染付
31回- 106	*	BK K- 22J B	口径 基高 (機) 底径 (機)	9.4 5.4 4.5 (機)	内面 7.5G Y 8/1明緑灰色 内面 10G Y 8/1明緑灰色 断面 5G Y 8/1灰白色より 白い 具置 10B G 5/1青灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 高台付部の脚ケズリとり 外面コニック焼成による花苞文 高台に「大明年製」の火張跡	部分反転 伊万里系染付 全面に無い貴人
31回- 107	*	BK K- 22MF	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.0 5.1 4.0 (機)	内面 2.5G Y 8/1明緑灰色 N 8/1灰白色より 白い 外面 10G Y 8/1明緑灰色より 白い 断面 10B G 6/1青灰色	第31回- 106と同じ 外面草花文	残存40% 反転鏡元 伊万里系染付
31回- 108	*	BK K- 22J C	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.0 5.6 4.2 (機)	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 断面 5G Y 8/1灰白色より 白い 具置 10B G 7/1青灰色より 白い	第31回- 106と同じ 高台内くずし文字による火張跡	残存40% 反転鏡元 伊万里系染付
31回- 109	*	BK K- 22J D + J D	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.6 6.2 4.4 (機)	内外面 10G Y 8/1明緑灰色 断面 2.5G Y 8/1灰白色 具置 10B G 7/1青灰色より 白い	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 高台付部以外は施釉 外面草花文	残存40% 反転鏡元 伊万里系染付
31回- 110	*	BK K- 22J C	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.4 6.2 4.45 (機)	内外面 5 Y 8/1灰白色 断面 10Y 8/1灰白色 具置 5 Y 8/1灰白色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 (やや4透明) 高台付部の脚ケズリとり	残存40% 反転鏡元 全面に無い貴人
31回- 111	*	BK K- 22E	口径 基高 (機) 底径 (機)	9.6 5.5 3.8 (機)	内面 10G Y 8/1明緑灰色より 白い 外面 10G Y 8/1明緑灰色 N 8/1灰白色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 高台付部の脚ケズリとり 外面草花文	残存40% 反転鏡元 伊万里系染付
31回- 112	*	BK K- 22J D	口径 基高 (機) 底径 (機)	9.8 5.3 3.8 (機)	内外面 10G Y 8/1明緑灰色より 白い 断面 N 8/1灰白色 具置 5 B 6/1青灰色より 彩やかな青色	第31回- 111と同じ	残存40% 反転鏡元
31回- 113	*	BK K- 22MG	口径 基高 (機) 底径 (機)	9.8 5.3 3.3 (機)	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 N 8/1灰白色 10B G 7/1青灰色	第31回- 109と同じ	残存40% 反転鏡元
31回- 114	*	BK K- 22J D + J D	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.0 5.2 3.9 (機)	内面 7.5G Y 8/1明緑灰色 外側 10G Y 8/1明緑灰色 断面 5G Y 8/1灰白色より 白い 具置 10B G 7/1青灰色	第31回- 111と同じ	残存40% 反転鏡元
31回- 115	*	BK K- 22MG	口径 基高 (機) 底径 (機)	10.4 4.8 3.6 (機)	内外面 10G Y 8/1明緑灰色 断面 7.5G Y 8/1明緑灰色 具置 5 B 6/1青灰色より ややくすんだ青色	第31回- 111と同じ 内面見込み輪状に脚ケズリとり	残存40% 反転鏡元

標識番号	基 地	上 地 点	法 規 (cm)	色 調	特 徴	備 考
311E- 116	B/C ※ ※ ※	口径 (推) 基高 底径 (推) 基底 (推)	10.4 5.2 4.4 (推)	内外面 7.5G Y 7/1明暎灰色より白い 断面 N 8/0底白色よりやや白い 基底 10B G 7/1底青灰色	第31回 - 111と同じ 高台内「大明年製」の貝瓶跡	反転復元
311E- 117	B/C # K-22JC	口径 (推) 基高 底径 (推)	9.7 5.26 3.7 (推)	内外面 10G Y 8/1明暎灰色 断面 基底 N 8/0底白色 基底 3B 7/1底青灰色よりややかな青色	第31回 - 111と同じ 外面部花文	残存60% 反転復元
322E- 118	B/C # K-22NF	口径 (推) 基高 底径 (推)	11.2 5.1 4.6 (推)	内外面 10Y 8/1底白色 断面 N 8/0底白色 基底 5B G 6/1底白色	第31回 - 111と同じ 内面見込み端状に輪ヶメリとり	残存80% 内面見込みに 差ね他の痕跡
322E- 119	B/C # K-22JE	口径 (推) 基高 底径 (推)	10.7 5.3 4.0 (推)	内部 2.5G Y 7/1前オーリーブ 灰色 断面 5G Y 8/1底白色 基底 2.5G Y 8/1底白色 断面 10G Y 8/1底灰色よりくすんでいる	第31回 - 111と同じ 外面部コニック判による輪花文 内面見込み端状に輪ヶメリとり	残存70%
322E- 120	B/C # K-22LF+LG	口径 (推) 基高 底径 (推)	10.8 5.5 4.0 (推)	内外面 7.5G Y 8/1明暎灰色 断面 7.5T 8/2底白色 基底 10B G 7/1明暎灰色より り青い	第31回 - 111と同じ 外面部模様 高台内に輪面による環跡	残存60% 部分反転
322E- 121	B/C # K-22NG	口径 (推) 基高 底径 (推)	10.2 4.9 4.0 (推)	内外面 7.5G Y 8/1明暎灰色 断面 N 8/0底白色より 白い 基底 10B G 6/1底青灰色より 白い	第31回 - 111と同じ 外面部重織紋文 高台斜材に輪形指沿	反転復元
322E- 122	B/C # K-22ND	口径 (推) 基高 底径 (推)	10.0 4.7 3.9 (推)	内外面 7.5G Y 8/1明暎灰色 断面 N 8/0底白色 基底 10B G 6/1底白色	第31回 - 111と同じ 外面部二重織紋文	残存40% 反転復元
322E- 123	B/C # K-22MG	口径 (推) 基高 底径 (推)	9.1 4.9 3.2 (推)	内外面 N 8/0底白色より 細い青色 断面 N 8/0底白色 基底 6B 7/1底青灰色より やかな青色	第31回 - 111と同じ 外面部章文	残存60% 反転復元
322E- 124	B/C # K-22JC	口径 (推) 基高 底径 (推)	9.8 4.9 4.1 (推)	内外面 7.5G Y 8/1底青灰色 断面 N 8/0底白色 基底 10B G 6/1底灰色	ミズビキ底形 ケズリ出し高台 斜材に輪面以外は無難 高台内「大明年製」の貝瓶跡 外面部コニック判による輪花文	残存60% 部分反転
322E- 125	B/C # K-22LD	口径 (推) 基高 底径 (推)	9.8 5.2 4.2 (推)	内外面 2.5G Y 8/1底白色 断面 2.5G Y 8/1底白色 基底 3G 3/1明暎灰色	第31回 - 111と同じ 高台内「大明年製」の貝瓶跡 外面部コニック判による輪花文	残存60% 反転復元
322E- 126	B/C # K-22LD	口径 (推) 基高 底径 (推)	9.0 5.1 3.4 (推)	内外面 10G Y 8/1明暎灰色より白い 断面 5G Y 8/1底白色 基底 10B G 7/1底青灰色より青い	第31回 - 111と同じ 高台内「大明年製」の貝瓶跡 外面部花文	残存85%
322E- 127	B/C # K-22KE	口径 (推) 基高 底径 (推)	15.0 5.7 4.3 (推)	内外面 N 8/0底白色 N 8/0底白色 5B 7/1底青灰色より やかな青色	ミズビキ底形 ケズリ出し高台 斜材良好 全面無難 外面部花文 高台内「大明年製」の貝瓶跡	残存90%
322E- 128	B/C # K-22LF+LG	口径 (推) 基高 底径 (推)	9.6 5.7 3.8 (推)	内外面 7.5G Y 8/1明暎灰色 断面 7.5T 8/1底白色 基底 10B G 7/1底青灰色より青い	第31回 - 111と同じ 外面部コニック判による円形の重織紋文	残存25% 反転復元 外面部に無い員 人

標本番号	基 地	出上地點	尺 寸 (cm)	色 調	特 徴	備 考	
329E- 129	基 部 礁	B区 K-22JC+JD	口徑 (底) 基高 底径 (底)	内面 10.6 7.0 5.6	10G Y 8/1明緑灰色よ り多い 7.5G Y 8/1明緑灰色よ り多い N 8/0灰白色 S D 7/1明緑灰色よ り青味が強い	第31図- 111と同じ	残存50% 反転復元
329E- 130	*	B区 K-22JC	口徑 基高 底径	9.8 6.9 4.2	内面 7.5G Y 8/1明緑灰色 外面 N 8/0灰白色 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 4/1白灰色	第31図- 111と同じ 外側一重巻文	残存55%
329E- 131	*	B区 K-22KC+KD	口徑 基高 底径 (底)	9.8 6.9 4.0	内外面 10G Y 8/1明緑灰色 断面 2.5Y 8/2灰白色 底面 10G Y 5/1緑灰色	第31図- 111と同じ 高台性付と内側は圓輪	残存55% 部分反転
329E- 132	*	B区 K-22JE	口徑 (底) 基高 底径 (底)	8.1 4.5 3.2	内外面 N 8/0灰白色 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 7/1明緑灰色よ り彩やかな灰色	第31図- 111と同じ 高台内「大明年製」の呉服跡	残存40% 反転復元
329E- 133	*	B区 K-22ID+JD	口徑 基高 底径 (底)	9.6 4.2 3.3	内面 7.5G Y 8/1明緑灰色 外側 N 8/0灰白色 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 5/1青灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 側底良好 石舟内以外は施物 内側口縁端部に四方巻文 内面底裏文	残存45% 反転復元
329E- 134	*	B区 K-22MG	口徑 基高 底径	12.0 6.2 4.8	内面 7.5G Y 8/1明緑灰色 外側 2.5G Y 8/灰白色 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 5/1青灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 側底良好 全面施物 外側底裏文 内面見込みに花文と二条の團羅	部分反転
339E- 135	*	B区 K-22JC	口徑 基高 底径	8.6 4.9 4.6	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色よ り少く灰白 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 5/1青灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 側底良好 全面施物 側面が直角に傾斜 外側面斜交織文 内面見込みに花文と二条の團羅	残存30% 反転復元
339E- 136	*	B区 K-22JC	口徑 基高 底径	7.4 5.1 3.3	内面 2.5G Y 8/1明緑灰色 外側 10G Y 8/1明緑灰色 断面 N 8/0灰白色 底面 7.5G Y 5/1緑灰色	第33図- 135と同じ 外側草花文	残存55%
339E- 137	吉 部 礁	B区 K-22LE	口徑 基高 底径	7.2 5.6 4.0	内外面 10G Y 8/1明緑灰色よ り多く灰白 断面 N 8/0灰白色 底面 10B G 5/1青灰色	第33図- 135と同じ 側面がやや内傾 内側口縁端部に四方巻文 高台性付の點ケズリとり	反転復元
339E- 138	基 部 礁	B区 K-22KE	口徑 基高 底径	9.5 6.3 4.6	内面 2.5G Y 7/1青オーブ 色 外側 5G Y 7/1青オーブ 色 断面 2.5G Y 7/1青オーブ 色 底面 5G Y 6/1青オーブ 色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 側底良好 全面施物 (やや不透明) 側面は丸柱を持つ 外側コンニア判による板の文様	残存50% 反転復元
339E- 139	*	B区 K-22JC	口徑 (底) 基高 底径 (底)	7.8 6.8 5.2	内外面 N 8/0灰白色 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 4/1青灰色	第33図- 138と同じ 外側底裏文	残存30% 反転復元 蓋物
339E- 140	基 部 礁	B区 K-22JC	口徑 基高 底径 (底)	13.8 5.2 5.8	内面 10G Y 8/1明緑灰色よ り多い 外側 7.5G Y 8/1明緑灰色 断面 N 8/0灰白色 底面 S B 6/1青灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 側底良好 施物付以外は施物 内面樹木のある風景	残存30% 反転復元
339E- 141	*	B区 底土内	口徑 (底) 基高 底径 (底)	13.2 3.4 4.2	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色よ り多い 断面 2.5G Y 8/1灰白色より 多い 底面 10B G 7/1明緑灰色よ りより青い	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 側底良好 全面施物 高台性付と内面見込み輪状に點ケズリと り 内面團羅2条と斜交織文	反転復元

詳細番号	基 地 種 類	出 土 地 点	法 則 (cm)	色 調	特 徴	備 考	
33IE-142 2188	磁 器 類	BIE K-221 E	口径 (深) 都高 底径	10.6 3.0 4.9	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色より やかな青色	ミズキ彌形 つまみ足ケズリ出し 焼成良好 全面施釉 つまみ足部の脚ケズリとり 内面二条の西服と底部に四方陣文 外面花草文	残存40% 反転復元
33IE-143 2189	磁 器 類	BIE K-22 LD	口径 (高) 都高 底径	9.6 7.1 6.2	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色より 白い 内面 10G 7/1青灰色より 青味が強い	ミズキ彌形 ケズリ出し芦台 焼成良好 全面施釉 高台付台と口輪周部のみ脚ケズリとり 外面牡丹花草 高台内「舟」の模様	反転復元
33IE-144 2190	磁 器 類	BIE K-22 JC	口径 都高 底径	— 6.8 4.85 (深)	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 ケズリ出し芦台 焼成良好 全面施釉 高台付台のみ脚ケズリとり 外面草花文	残存30% 反転復元 (復原)
34IE-145 2298	磁 器 類 大 皿	BIE K-22 JD	口径 都高 底径	19.4 6.8 9.5	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色より やかな青色	ミズキ彌形 14Eと同じ 内面足込中央に五角形の形跡 脚部は4枚脚に竹と糸 外面唐草文 高台内「舟」のくずし跡	残存80% 部分復元
34IE-146 2299	磁 器 類	BIE K-22 JC	口径 都高 底径	3.4 6.4 —	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 焼成良好 全面施釉 外側草花文	残存30% 反転復元 口輪部みあ り (復原)
34IE-147 2300	磁 器 類	BIE K-22 JC	口径 都高 底径	7.4 3.6 2.8	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色より 白い 内面 10G 5/1青灰色より 青い	ミズキ彌形 14Eと同じ 高台付台の脚ケズリとり 外側コンニャク目	反転復元
34IE-148 2301	*	BIE K-22 MG	口径 都高 底径	7.0 3.2 2.7	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 14Eと同じ 外側面	残存40% 反転復元
34IE-149 2302	磁 器 類 高 脚 脚 付	BIE K-22 MG	口径 都高 底径	7.4 4.9 4.0	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 脚部ケズリ出し 焼成良好 全面施釉 コンニャク目を生ねて押す	残存60% (仮復元)
34IE-150 2303	*	BIE K-22 JC + JD	口径 都高 底径	7.2 5.0 4.5	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 脚部ケズリ出し 焼成良好 脚部を落とし外は施釉 内側脚部内面とも四方陣文	残存90% 二次焼成 (仮復元)
34IE-151 2304	*	BIE K-22 JB	口径 都高 底径	8.8 5.5 4.3	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 脚部ケズリ出し 焼成良好 脚部を落とし	(仮復元)
34IE-152 2305	*	BIE K-22 JD	口径 都高 底径	8.4 4.0 —	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色	ミズキ彌形 焼成良好 全面施釉 外側草花文	部分復元30% 部分反転 (仮復元)
34IE-153 2306	*	BIE K-22 ID + JD	口径 都高 底径	7.9 7.1 4.2	内外面 断面 底面 内面 N 8/0灰白色 S B 6/1青灰色より やかな青色	ミズキ彌形 脚部ケズリ出し 内面	残存60% 部分反転 (仮復元)
34IE-154 2307	*	BIE K-22 JE	口径 都高 底径	— 5.1 4.0	内外面 断面 底面 内面 2.5G Y 7/1瓶オリーブ 色 10Y 8/1灰白色 10G 6/1青灰色	ミズキ彌形 脚部ケズリ出し 焼成良好 瓶身より上部は全面施釉	部分反転 (仮復元)

辨識番号	基 種	出 土 場 所	年 (<i>ca.</i>)	色 調	特 徴	備 考	
3484- 150	■ 高 脚 杯	B区 K-22KD+KB	口径 基高 (残) 底径 — 4.5 5.0	内面 外面 N 7.5Y 7.5Y 5B	10Y 8/1灰白色 8/2灰白色 8/2灰白色 6/1灰白色より 茶やかな青色	ミズビキ底形 脚部ケズリ出し 施成良好 全面施釉 脚部の難ケズリとり 杯底は粗粒を呈す	脚部完形 杯部部分反転
3484- 156	■	B区 K-22JF	口径 基高 (残) 底径 — 5.4 4.5 (残)	内外面 断面 外 5.4 4.5	10Y 8/2灰白色 N 8/0灰白色 8B 7/1青灰白色より 茶やかな青色	ミズビキ底形 脚部ケズリ出し 施成良好 全面施釉 杯底は粗粒を呈す	残存70% 反転復元
3584- 157	白 高 脚 杯	B区 K-22JC	口径 基高 底径 — 10.4 8.2 4.4	全面	10Y 8/1灰白色より 白い	ミズビキ底形 ケズリ出し高台 施成良好 全面施釉 高台付けの難ケズリとり	完形
3584- 158	■	B区 K-22JC	口径 基高 底径 — 10.0 6.1 3.9 (残)	内外面 断面 内 10.0 6.1 3.9	N 8/0灰白色より 白い 10Y 8/1灰白色	第3584- 157と同じ	残存40% 反転復元
3584- 159	■	B区 K土内	口径 基高 底径 — 10.8 5.4 5.2 (残)	内外面 断面 内 10.8 5.4 5.2	10Y 8/1灰白色 N 8/0灰白色	第3584- 157と同じ	残存30% 反転復元
3584- 160	■	B区 K-22JC	口径 基高 底径 — 11.4 6.6 4.4	全面	N 8/0灰白色	第3584- 157と同じ 外面底部は回転ヘラケズリ	残存30%
3584- 161	白 高 脚 杯	B区 K-22JD+JD	口径 基高 底径 — 10.45 3.25 3.6	全面	N 8/0灰白色より 白い	第3584- 157と同じ 外面底部は回転ヘラケズリ	残存30%
3584- 162	■	B区 K-22MG	口径 基高 底径 — 8.9 2.2 3.4 (残)	全面	N 8/0灰白色より 白い	ミズビキ底形 ケズリ出し高台 施成良好 高台内部と骨付以外は施釉 内面見込み輪状に難ケズリとり	残存40% 反転復元
3584- 163	■	B区 K-22LC+LD	口径 基高 底径 — 9.2 2.2 3.1 (残)	全面	N 8/0灰白色より 白い	ミズビキ底形 ケズリ出し高台 施成良好 全面施釉 内面見込み輪状に難ケズリとり	残存30% 反転復元
3584- 164	白 高 脚 杯	B区 K-22ND	口径 基高 底径 — 7.0 3.6 2.7 (残)	内外面 断面 内 7.0 3.6 2.7	2.5G Y 8/1灰白色 N 8/0灰白色	第3584- 157と同じ	残存30% 反転復元 (さいのみ)
3584- 165	■	B区 K-22JC	口径 基高 底径 — 7.9 2.8 3.7 (残)	全面	N 8/0灰白色より 白い	第3584- 157と同じ	残存40% 反転復元
3584- 166	白 高 脚 杯	B区 K-22JC	口径 基高 つまみ径 — 8.0 1.95 3.1	全面	N 8/0灰白色より 白い	ミズビキ底形 つまみケズリ出し 施成良好 全面施釉 つまみ端面部ケズリとり	残存35%
3584- 167	■	B区 K-22JB	口径 基高 つまみ径 かえり径 — 10.2 4.5 2.1 7.2	内外面 断面 内 10.2 4.5 2.1 7.2	7.5G Y 8/1明灰白色より 白い 2.5G Y 8/1灰白色より 白い	ミズビキ底形 内面ヘラケズリ つまみ端かえり筋に付け つまみから口縁部に施釉 内面に輪状に施釉の痕跡	完形

標識番号	品種	生土地点	花量(本)	色調	特徴	備考
3584- 168 2388	白 墨有 墨無	B区 K-22JB	口径 基部 底径 17.0 14.2 6.4	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色より白色に近い 断面 2.5G Y 8/1灰白色より白色に近い	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 外面全体にカクナ板の單位 網目と下部に細かい縦線を有す 口部内側から裏全部を施鈍 高台性付と口部基部の鈍ケズリとり	反転復元 第3584-167 とセット
3584- 169	白 墨有 墨無	B区 K-22JD	口径 基部 (残) 底径 — 2.2 5.6	内面 2.5G Y 8/1灰白色 断面 10G Y 8/1明緑灰色 裏面 2.5G Y 8/1灰白色	第3584- 157と同じ 外面施鈍	残存30%
3584- 170	白 墨有 墨無	B区 K-22OH	口径 基部 底径 6.0 5.0 6.0	内外面 N 8/0灰白色 断面 2.5Y 8/1灰白色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 内面施鈍	残存30%
3584- 171 1588	胸 墨有 墨無	B区 K-22MC	口径 基部 底径 (残) 9.4 6.7 4.8 (残)	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 断面 10Y R 7/3に近い黄褐色 裏面 10G Y 7/1明緑灰色よりやかな吉野色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 外面全体にツーガ色の點を施す 内面は白施鈍	残存40% 反転復元
3584- 172	#	B区 K-22OD	口径 基部 (残) 底径 — 5.5 5.1	内面 7.5Y 6/1灰白色 断面 10Y R 6/2灰黄色 裏面 10Y R 7/1灰白色 底径 10Y R 4/2灰黄色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 全面施鈍を施鈍 資料の點ケズリとり 外面施鈍	残存30% 部分反転 全面に細かい 貫入
3584- 173 1588	#	B区 K-22KE	口径 基部 底径 (残) 9.2 6.7 4.0 (残)	内外面 2.5Y 7/4淡黄色 断面 5 Y 8/3淡黄色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 全面施鈍 高台性付の點ケズリとり	残存50% 反転復元 全面に細かい 貫入
3584- 174	#	B区 K-22IC+ID	口径 基部 底径 (残) 9.2 6.8 4.5	内外面 10Y R 7/3に近い黄褐色 断面 2.5Y 8/2灰白色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 全面施鈍	部分反転 全面に細かい 貫入
3584- 175 1588	#	B区 K-22MG	口径 基部 底径 (残) 11.7 6.0 4.4	内外面 10Y R 6/2灰黃褐色 断面 10Y R 7/3に近い黄褐色 裏面 5 Y 8/2灰白色	第3584- 173と同じ	残存60% 反転復元 津糸網毛目 裏
3584- 176 1588	#	B区 K-22JC	口径 基部 底径 (残) 9.0 5.7 3.6	内外面 2.5Y 6/1灰白色 断面 2.5Y 6/2灰黃褐色 裏面 2.5Y 8/3淡黄色 底径 5 Y 8/2灰白色	第3584- 173と同じ 内面見込み輪状に點ケズリとり	残存95% 津糸網毛目 裏
3584- 177 1588	#	B区 K-22JE	口径 基部 底径 (残) 10.4 6.2 4.4	内外面 10Y R 6/3に近い黄褐色 断面 2.5Y 8/2灰白色 裏面 5 Y 8/2灰白色	第3584- 173と同じ 内面白施鈍をうずまき状に施鈍	残存60% 反転復元 津糸網毛目 裏 全面に細かい 貫入
3584- 178	胸 墨有 墨無	B区 K-22KE	口径 基部 底径 (残) 10.4 2.8 3.6	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色より赤色 断面 5 Y R 8/2淡褐色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 外面施鈍をハラケズリ 内面に鉄筋 内面と外面上半部施鈍 内面見込み輪状に點ケズリとり	反転復元 重ね撚の痕跡
3584- 179	#	B区 K-22MF	口径 基部 底径 (残) 10.4 2.6 4.4	内外面 5 B G 6/1淡紫色 断面 5 Y R 8/1に近い赤褐色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 高台性付 高台性付の點ケズリ 内面見込み輪状に點ケズリとり	細かい気泡を 多く含む
3584- 180 1588	#	B区 K-22JB	口径 基部 底径 (残) 10.1 2.8 3.25	内外面 7.5Y 6/3淡紫色 断面 8 Y R 6/3に近い褐色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 内面と外面上半部で施鈍 内面見込み輪状に點ケズリとり 紅砂筋有	完形
3584- 181	胸 墨有 墨無	B区 K-22JB	口径 基部 底径 (残) 13.1 4.7 4.7	内外面 5 Y 8/3淡黄色 断面 7.5Y 8/2灰白色 底径 5 G Y 6/1オーピー灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 桃武良好 肩台以外は施鈍 高台性付「山」のスタンプ 基部は無い 内面底部による下駄付 基と人	残存80% 京焼 全面に細かい 貫入

牌固番号	基 盤	出 土 地 点	法 量 (cm)	色 調	特 徴	備 考
37固- 195	#	B区 K-22LG	口径 17.55 (推) 器高 6.75 (推) 底径 —	全面 2.5YR 3/3暗赤褐色 外面 断面 10R 4/2暗赤褐色 断面 10R 3/2暗赤褐色 底部 10YR 7/1灰白色	ロクロ成形 回転ナデ 焼成良好 外面施釉	反転復元 大谷焼
37固- 196	陶 器 底	B区 K-22LD・JD	口径 40.6 (推) 器高 17.0 (推) 底径 —	全面 10R 4/2暗赤褐色 外面 断面 10R 3/2暗赤褐色 断面 10YR 7/1灰白色	ロクロ成形 回転ナデ 焼成良好 全面施釉	大谷焼
37固- 197	#	B区 K-22MF	口径 12.4 (推) 器高 14.6 (推) 底径 9.3	内外全面 断面 5YR 2/2黒褐色 5Y 8/3暗赤褐色	ロクロ成形 焼成良好 底部外面以外は全面施釉	残存50% 反転復元 大谷焼
37固- 198	陶 器 底	B区 K-22MG	口径 11.1 (推) 器高 4.5 底径 3.6	全面 7.5YR 3/2黒褐色 外面 断面 7.5YR 4/1海綿色 5Y 5/1灰白色	ミズビキ成形 焼成良好 かえり外面以外は全面施釉	残存60% 反転復元 大谷焼
37固- 199	#	B区 K-22KD	口径 5.8 (推) 器高 2.4 底径 —	全面 10YR 3/1黒褐色 外面 断面 10YR 6/3に長い青褐色 5Y 6/2灰オーライブ色	ミズビキ成形 外面延長回転ヘラケツリ 焼成良好 内面からかえり端面まで施釉 口縁部延長ケツリとり	残存30% 反転復元 トナリ馬鹿
37固- 200	#	B区 K-22JC	口径 11.05 器高 1.9 つまみ紐2.45	全面 5YR 4/2暗褐色 外面 断面 2.5Y 7/3暗赤褐色 断面 5Y 8/2灰白色	ミズビキ成形 焼成良好 貼付けたまみは丸の型押し 外底のみ施釉	残存80%
38固- 201	陶 器 身	B区 K-22MF	口径 29.8 器高 13.3 底径 11.0	施釉部 5Y 3/2オーライブ黒褐色 施釉部 5YR 3/4暗赤褐色 断面 * 底部 10YR 7/1灰白色	マキアゲミズビキ成形 ケツリ出し高台 焼成良好 内面より口縁外まで施釉 施釉部に化粧剥け	残存40% 部分反転 吉津燒井口跡
38固- 202	#	B区 K-22MF	口径 16.8 器高 8.9 底径 9.2	全面 2.5Y 7/4暗赤褐色 外面 断面 2.5Y 7/6暗赤褐色 5.5Y 8/2灰白色	マキアゲミズビキ成形 ケツリ出し高台 焼成良好 外表面から全体下まで施釉 高台内に「キ」の墨書き	残存50% 反転復元
38固- 203	陶 器 底	B区 K-22MG	口径 — 器高 13.6 (推) 底径 8.4 (推)	全面 10YR 5/1海綿褐色 外面 断面 7.5YR 5/3に長い青褐色 10Y 6/1灰白色	マキアゲミズビキ成形 焼成良好 施釉外側にヘラ記号 外底下部はヘラケツリ調整	残存40% 反転復元 施釉焼 (復利)
38固- 204	陶 器 底 木	B区 K-22LF	口径 13.1 器高 6.8 底径 13.0	全面 2.5YR 4/1赤褐色 外面 断面 2.5YR 5/2赤褐色 10.5G 7/1明赤褐色	マキアゲミズビキ成形 焼成良好 底部無切り	残存25% 反転復元 施釉焼
38固- 205	陶 器	B区 K-22JS	残存長 14.0 器高 3.6 幅 3.6	内外全面 2.5GY 7/1明オーライブ 底部 断面 N 8/0灰白色 5G 7/1明オーライブ 底部	焼成良好 外面に墨文 底部外面以外は施釉	残存70% ジンライ
38固- 206	陶 器 花 生	B区 K-22LF・LG	口径 12.6 (推) 器高 17.3 底径 12.8	全面 10R 4/3赤褐色 外面 断面 5YR 4/2暗褐色 5.5Y 8/2灰白色	マキアゲミズビキ成形 焼成良好 口縁外に13本の沈緋を行つ 内面下と口縁部全面から外側底部まで 施釉	残存30% 反転復元 底焼
38固- 207	陶 器 接 縫	B区 K-22MF	口径 29.0 (推) 器高 11.6 底径 11.8 (推)	内外全面 断面 10R 3/2暗赤褐色 10R 2/1灰白色 10R 4/6赤色	マキアゲミズビキ成形 焼成良好 スリット 1単位13本	残存45% 反転復元 施釉焼

採集番号	器 種	出土地点	法 量 (g)	色 調	特 徴	考 察
3982-206	陶 器 類	B区 K-22JB	口径 基高 底径 12.7 13.0	内面 外面 断面 2.5Y R 4/6赤褐色 2.5Y R 4/6赤褐色 2.5Y R 2/4赤褐色 2.5Y R 4/6赤褐色	第3982-207と同じ スリット 1単位15mm	残存90% 崩落部
3982-209	*	B区 K-22MG	口径 基高 底径 (基) 33.0 16.0 15.8	内外面 断面 10R 3/1赤褐色 10R 3/4赤褐色	第3982-207と同じ スリット 1単位12mm	残存70%
3982-210	*	B区 K-221C+1D	口径 基高 (基) 底径 9.0 9.2	内外面 断面 2.5Y R 2/4赤褐色 2.5Y 8/2灰白色	第3982-207と同じ スリット 1単位13mm	残存60% 部分反転
4082-211	土 器 類	B区 K-22LD	口径 基高 底径 6.9 6.8 —	内面 外面 断面 7.5Y R 6/6緑色 7.5Y R 7/6緑色 7.5Y R 6/6緑色	第2288-96と同じ	残存70%
4082-212	*	B区 K-22LD	口径 基高 底径 6.7 1.0 9.2	内面 外面 断面 7.5Y R 7/6緑色 7.5Y R 7/4C.5/1緑色 7.5Y R 7/4C.5/1緑色	第2288-96と同じ	残存90%
4082-213	*	B区 K-22LD	口径 基高 底径 6.55 0.9 —	全面 7.5Y R 7/4C.5/1緑色	第2288-96と同じ	残存80%
4082-214	*	B区 K-22LD	口径 基高 底径 6.5 9.5 —	全面 7.5Y R 7/6緑色	第2288-96と同じ	完形
4082-215	*	B区 K-22LD	口径 基高 底径 6.5 8.5 —	内面 外面 断面 5 Y R 7/4C.5/1緑色 10Y R 7/3C.5/1黄緑色 5 Y R 7/4C.5/1緑色	第2288-96と同じ	残存90%
4082-216	*	B区 K-221D+JD	口径 基高 底径 8.15 1.55 —	内外面 断面 7.5Y R 7/4C.5/1緑色 10Y R 6/2灰褐色	施成中や軟 瓦部剥離 内面から口縁外面向て施成 口縁部付着	残存95%
4082-217	*	B区 K-221D+JD	口径 基高 底径 10.8 2.05 —	内外面 断面 2.5Y R 6/4C.5/1緑色 2.5Y R 6/3赤褐色	施成良好 内面施成 口縁内面に3ヶ所の粘土塊を貼付 口縁部に焼付着	残存90%
4082-218	*	B区 K-22LD	口径 基高 底径 11.8 2.1 —	内面 外面 断面 2.5Y R 2/2赤褐色 2.5Y R 5/2灰褐色 2.5Y R 2/2赤褐色	施成良好 内面施成 口縁外面向て取手状の粘土塊を貼付	残存40% 反転復元
4082-219	*	B区 K-221D+JD	口径 基高 底径 10.1 1.65 —	内面 外面 断面 5 Y R 6/6緑色 7.5Y R 7/4C.5/1緑色 5 Y R 7/6緑色	施成良好 底部剥離 内面から口縁外面向て施成	残存70%
4082-220	*	B区 K-22LE	口径 基高 底径 6.6 1.2 —	内面 外面 断面 7.5Y R 6/6緑色 5 Y R 5/6明赤褐色 7.5Y R 6/3浅赤褐色	施成中や軟 全面施成 底部剥離	反転復元 不明確
4082-221	*	B区 K-22ME+NE	口径 基高 底径 10.4 2.1 —	内外面 断面 10Y R 6/4C.5/1黄緑色 10Y R 1.7/1黒色	施成良好	反転復元
4082-222	*	B区 K-22KC	口径 基高 底径 11.2 2.25 —	内面 外面 断面 10Y R 8/3灰白色 10Y R 8/3浅黃褐色 10Y R 7/2C.5/1黄緑色	施成中や軟 底部剥離 口縁部に焼付着	残存40%

辨認番号	器種	出土地点	横 長 (cm)	色 調	特 徴	備 考		
4016-223	土 箱 蓋 底 盤	B区 K-22J B + J C	口徑 基部 底盤	10.6 1.9 6.6	全面 10Y R 7/4に赤い黄緑色	焼成やや軟 底盤回転痕切刃 口縁部に焼付着	残存40%	
4016-224	*	B区 K-22O G	口徑 基部 底盤	10.0 2.3 —	内面 外側 断面	2.5Y 5/2赤緑黄色 10Y 4/1赤色 N 3/0赤白色	焼成やや軟 口縁付近ヨコナズ	残存90%
4016-225	瓦質 皿	B区 K-22O G	口徑 (底) 基部 底盤	9.6 1.8 —	内外面 断面	7.5Y 8/2灰白色 5Y 7/1灰白色	焼成良好 側面ヨコナズ 外側底盤折れ目	残存25% 反転復元
4016-226	陶質 皿	B区 K-22M E + NE	口徑 (底) 基部 底盤	10.4 1.5 4.0	内外面 断面	10R 5/3赤褐色 10R 5/6赤色	焼成良好 外側底部ヘラケズリ 内面から口縁外側まで施釉	
4016-227	土 箱 蓋 底 盤	B区 K-22J C	口徑 (底) 基部 底盤	30.6 8.8 —	内面 外側 断面	7.5Y R 7/4に赤い褐色 10Y R 7/4に赤い黄緑色 7.5Y R 7/4に赤い褐色	焼成やや軟 口縁部ヨコナズ 外側付着	残存30% 反転復元 歪み大
4016-228	*	B区 K-22O F	口徑 (底) 基部 底盤	23.8 3.55 20.7 (底)	内外面 断面	7.5Y R 6/6赤褐色 7.5Y R 7/8黄褐色	外側面に擦れ見え	反転復元
4016-229	陶質 土 鍋	B区 K-22O H	口徑 基部	3.4 4.0	内面 外側	7.5Y R 6/2灰褐色 10Y R 4/1灰褐色	焼成良好 外側面に2段の折れ見え	定期
4016-230	土 箱 蓋 火 盆	B区 K-22M E + NE	口徑 (底) 基部 底盤	17.4 6.5 —	全面	7.5Y R 8/4に赤い褐色	焼成やや軟 外側ヘラケズリの後ナグ調整 貼付の三脚 口縁は肥厚 保付着	残存30%
5616-235	磁器 皿	C区 K-21E Y	口徑 基部 底盤	13.6 3.55 7.5	内外面 断面	7.5G Y 8/1明緑灰褐色 5Y 白 7.5Y 8/1灰白色より 白 5B 6/1青灰色より 明るい	ミズビキ成型 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 高台内「人形午年」の呉須跡 内面底と9花文 外側底	残存90% 伊万里燒業付
5616-236	*	C区 K-21E Y	口徑 基部 底盤	14.4 3.4 7.8 (底)	内外面 断面	7.5G Y 8/1明緑灰褐色 5Y 白 7.5Y 8/1灰白色より 白 5B 6/1青灰色より 明るい	ミズビキ成型 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 高台内「...」の呉須跡 内面底と波文	残存50% 伊万里燒業付
5616-237	磁器 皿	C区 K-21E Y	口徑 基部 底盤	12.2 4.95 4.45	内外面 断面	7.5G Y 8/1明緑灰褐色 5Y 白 6P D 6/1青灰色より ややくすんだ青色	ミズビキ成型 ケズリ出し高台 焼成良好 高台付着と内面見込み輪状に施ケズリと り 并直草花にトンボ	残存40% 反転復元 伊万里燒業付
5616-238	磁器 皿	C区 K-21E Y	口徑 基部 底盤	13.3 8.0 7.9	内外面 断面	7.5G Y 8/1明緑灰褐色 10Y 8/1灰白色 10B G 6/1青灰色	ミズビキ成型 ケズリ出し高台 焼成良好 三脚状の口縁外側に2条の波状文 内面から外側全体まで施釉	残存40% 反転復元 伊万里燒業付
5616-239	陶器 皿	C区 K-21E Y	口徑 基部 底盤	24.0 12.1 9.8 (底)	内面 外側 断面	2.5Y 5/2赤褐色 5Y R 3/20赤褐色 10R 6/2灰褐色 2.5Y 8/1灰白色	マモアゲミズビキ成型 ケズリ出し高台 焼成良好 玄暦款の口縁外側に2条の波状文 内面から外側全体まで施釉	残存40% 反転復元

井筒番号	器種	田 土 地 点	法 級 (cm)	色 調	特 性	備 考
598-290 24回	磁器 器皿 病	DK K-21AX 8-OX	口径 基島 底径 4.8 3.4	内外面 7.5G Y 8/1明緑灰色 断面 2.5G Y 7/1明オリーブ 灰色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 外面海花文	残存35% 反転脱元 伊万里焼
599-291 24回	陶器 器皿 病	DK K-22GA	口径 基島 底径 — 2.6 4.4 (mm)	内面 断面 5Y 8/2灰白色 5Y 8/6灰白色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 高台以外は施釉 施釉による下駄付 内面見込みに2ヶ所の扭跡	残存30% 部分反転 点染
599-292 17回	土器 陶器 器皿 土鍋	DK K-16VY	口径 基島 底径 10.0 8.2 (mm)	内面 外面 断面 2.5Y R 5/1褐灰色 2.5Y R 6/9褐色 2.5Y R 5/6明赤褐色	マキアゲミズビキ成形 内面焼成不良の後ナダ 結晶片若木合む	残存10% 反転脱元
599-294 17回	土器 陶器 器皿 茶碗	DK K-16VY 床内	口径 基島 底径 28.8 11.8 13.0	内面 外面 断面 2.5Y R 3/3明赤褐色 2.5Y R 4/2灰褐色 2.5Y R 4/4に赤い赤褐色	マキアゲミズビキ成形 焼成良好 スリ目 1単位15本	残存40% 反転脱元 個体
600-300 24回	土器 陶器 器皿 茶碗	GK K-16KU 14-O	口径 基島 底径 — 10.3 31.0 (mm)	内外面 断面 10YR 7/3に赤い赤褐色 7.5YR 7/4に赤い赤褐色	マキアゲミズビキ成形 内面ハナ目 外面タキ目	
601-302 24回	磁器 器皿 倒角	GK 基島 倒角	口径 基島 底径 10.4 — 4.0	内面 外面 断面 7.5G Y 8/1明緑灰色 10G Y 8/1明緑灰色 2.5G Y 8/6灰白色	ミズビキ成形 ケズリ出し高台 焼成良好 全面施釉 外面海花文 高台内「太明年鑑」の隠匿跡	残存30% 部分反転 伊万里焼
602-303 24回	GK 倒角	口径 基島 底径 10.1 5.25 4.4 (mm)	内外面 断面 7.5G Y 8/1明緑灰色 2.5G Y 7/1明オリーブ 灰色	第67回-302と同じ		残存30% 反転脱元 伊万里焼
603-304 24回	GK 倒角 18-OI	口径 基島 底径 7.8 1.55 6.55	内面 外面 断面 2.5Y R 5/3に赤い赤褐色 10R 6/4に赤い赤褐色 10R 5/2灰赤色	施釉 底部折おさえ		残存80%

表3 軒丸瓦・軒平瓦観察表

B区出土軒丸瓦

件番号 出土地点 断面番号	高 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	内径 (cm)	周文数	巴筋-筋 込み方向	色 調	形 式	施 工	備 考
1300-15 2500	K-22 J.D., J.R.	(13.8)	0.9	1.0	(11.8)	(36)	N3/0暗灰色	板	(砂粒を含む)	板外式簡單文
1300-16 2500	K-22 M.D.	(13.5)	1.6	0.9	9.9		2.3YR8/2灰白色	中	中中粗 (砂粒を含む)	蓮子1+5 直角5 板外式簡單文
1300-17 2500	K-22 J.C.	15.3	1.0	0.8	12.7		10Y5/1灰色	板	密	蓮子1+5 直角5 板外式簡單文
1300-18 OG	K-22 OG	(15.0)	1.0	0.7			N6/0灰色	板	密	蓮子(直)8 板外式簡單文
1300-19 2500	K-22 OF	15.1	1.0	0.7	12.9		N4/0灰色	中	中 (砂粒を含む)	蓮子1+5 直角8 板外式簡單文
1300-20 NG	K-22 NG	(15.0)	1.0	0.7			N6/0灰色	板	密	蓮子(直)8 直角8 板外式簡單文
1300-21 2500	K-22 OG	15.2	1.2	0.6	12.7		10Y5/1灰色	板	密	蓮子1+5 直角8 板外式簡單文
1300-22 NP, NG	K-22 NP, NG	16.7					N6/0灰色	板	密 (砂粒を含む)	蓮子1+5 直角8 二次焼成 板外式簡單文
1400-23 JC	K-22 JC	(15.0)	0.8	0.4		(32)	3+左 2.3YR8/2灰白色	中	密	二次焼成
1400-24 2500	K-22 LD	(13.0)	1.0	1.0		(19)	3+左 5YR8/2灰白色	板	密	二次焼成 織れ目
1400-25 2600	K-22 NF, NG	(15.0)	0.7	0.7		(35)	3+左 10YR7/3に近い黃褐色	板	中中粗 (砂粒を含む)	二次焼成 織れ目
1400-26 2600	K-22 JD	(14.0)	2.1	0.5		(36)	3+左 10YR7/3に近い黃褐色	板	中中粗	
1400-27 JC	K-22 JC	(14.4)	0.7	0.7		(35)	3+左 N4/0灰色	板	密	
1400-28 NG	K-22 NG	(12.0)	1.0	0.5	(9.2)	(33)	3+左 10YR7/3に近い黃褐色	中	中中粗	二次焼成
1400-29 2600	K-22 JC, JD	(15.4)	1.0	1.0	(13.5)	(32)	3+左 2.3YR8/2灰白色	板	中中粗 (砂粒を含む)	二次焼成
4100-2300 2700	K-22 JD	17.1	2.1	0.5		(33)	3+左 N6/0灰色	板	密	
4100-2300 2800	K-22 KF	14.3	2.0	0.4	9.5	16	3+左 N6/0灰色	板	密	
4100-2300 2700	K-22 KD	13.6	2.2	0.5	9.0	15	3+左 N5/0灰色	中	密	

用()は鑑定

出目番号	出土地点	直 径 (m)	周 长 (m)	高 度 (m)	内径深 (m)	底丈数	已数・各部 込み方向	色 调	性 质	地 点	備 考
419E-235 279E	K-22 L.F	12.5	1.8	0.4	9.9	13	3・左	10Y6/1灰色	中	直	圓丸形
419E-236 279E	K-22 J.C., J.D	13.6	2.0	0.6	9.6	13	3・左	10Y7/1灰白色	軟	直	圓丸形
419E-237 279E	K-22 K.D	13.5	2.0	0.4	9.5	13	3・左	N5/0灰色	硬	直	(砂粒含む)
429E-238 279E	K-22 J.C., J.D	13.3	1.4	0.9	9.8	13	3・左	N5/0灰色	硬	中-中粗	(砂粒含む)
429E-239 279E	K-22 J.D	13.4	0.8	0.4	9.5	13	3・左	10Y6/1灰色	硬	直	圓丸形
429E-240 279E	K-22 J.D	13.3	2.0	0.4	9.3	13	3・左	10Y6/1灰色	中	直	(砂粒含む)

表(1)は推定

C区出土軒丸瓦

出目番号	出土地点	直 径 (m)	周 長 (m)	高 度 (m)	内径深 (m)	底丈数	已数・各部 込み方向	色 调	性 质	地 点	備 考
529E-281 269E	K-22 I.C		0.9	0.8	12.7	(36)		N5/0灰色	中	直	板式蓮華文
539E-282 269E	K-22 I.C		1.2	0.6	11.2	(30)		N5/0灰色	軟	中-中粗	三瓣蓮華文
549E-283 269E	K-22 H.B., H.C	18.5	2.4	0.7	9.0	13	3・左	N5/0灰色	硬	中-中粗	(砂粒含む)
549E-284 279E	K-22 H.B., H.C	13.5	2.3	0.6	9.2	13	3・左	N4/0灰色	硬	中-中粗	(砂粒含む)

表(1)は推定

B区出土軒平瓦

出目番号	出土地点	上幅 (m)	下幅 (m)	厚度 (m)	周 長 (m)	底丈数 (m)	已数・各部 込み方向	色 调		性 质	地 点	備 考
								L.	F.			
159E-30 289E	K-22 M.F	残14.2	残18.2	0.4	0.7	0.7	2.5Y8/3淡黄色	硬	直	直	二次焼成	
159E-31 289E	K-22 J.C	残17.5	残18.6	0.4	0.9	0.5	N4/0灰色	硬	直	直	四瓣蓮丸	
159E-32 289E	K-22 N.G., N.F	残12.0	残12.5	0.4	0.6	0.6	2.5Y8/3淡黄色	硬	直	直	二次焼成	
159E-33 289E	K-22 M.D	残8.4	残8.4	0.4	0.6	0.7	2.5Y8/3淡黄色	硬	直	直	二次焼成	
159E-34 289E	K-22 J.E., J.F	残8.4	残9.9	0.4	0.4	0.5	5-Y5/1灰白色	硬	直	直	二次焼成	
159E-35 289E	K-22 N.G	残5.9	残5.9	0.4	0.4	0.7	N4/0灰色	软	中-中粗	(砂粒含む)		
159E-36 289E, N.G	K-22 N.F., N.G	残12.6	残2.5	0.4	0.9	0.7	2.5Y8/3淡黄色	软	中-中粗	(砂粒含む)	二次焼成	

試験番号	出土地点	上位幅 (cm)	下位幅 (cm)	距離 (m)	距離幅 上 下	色 調	粒 底	耕 土	面 素
138E-32 288E	K-22 O.H., O.G.	24.2	23.3	0.4	0.3 0.5	N4/0灰色	硬	中中密	二次鉄成 凹面磨れ砂
168E-38 288E	K-22 J.C., J.D.	24.2	23.1	0.5	0.6 0.5	N4/0灰色	中	密 (砂粒を含む)	二次鉄成
168E-39 288E	K-22 N.G., N.F.	23.9	21.4	0.5	0.4 0.3	2.5Y8/38浅黄色	中	密	二次鉄成 凹面磨れ砂
168E-40 288E	K-22 J.C.	23.9	20.4	0.6	1.1 1.0	N4/0灰色	硬	中中密	二次鉄成
168E-41 288E	K-22 L.D., K.D.	23.1	19.2	0.3	0.7 0.8	N4/0灰色	硬	密 (砂粒を含む)	
168E-42 288E	K-22 N.F.	23.2	14.9	0.4	0.7 0.7	N4/0灰色	硬	密 (砂粒を含む)	
168E-43 288E	K-22 J.C.	23.0	16.4	0.45	1.2 1.3	2.5Y8/38浅黄色	硬	中や粗 (砂粒を含む)	二次鉄成
168E-44 288E	K-22 J.C.	23.5	12.5	0.6	0.5 0.7	N4/0灰色	硬	中中密 (砂粒を含む)	
168E-45 288E	K-22 L.D.	23.2	8.6	0.3	0.9 0.7	10Y4/10灰色	軟	中中密 (砂粒を含む)	
168E-46 288E	K-22 N.F.	23.9	9.4	0.4	0.6 0.7	2.5Y7/3浅黄色	中	中中密	二次鉄成
168E-47 288E	K-22 J.C., J.D.	23.5	12.4	0.5	0.8 0.8	10Y7/3C.深い青灰色	硬	密	二次鉄成
168E-48 288E	K-22 J.E., J.F.	23.5	6.9	0.5	1.1 0.8	2.5Y7/3浅黄色	軟 (砂粒を含む)	中中密	二次鉄成
168E-49 288E	K-22 N.E.	23.5	11.2	0.3	1.0 0.9	10Y3/1オリーブ灰色	軟	中中密	
168E-57 288E	K-22 O.G.	23.0	24.8	0.4	0.6 0.5	N5/0灰色 凹面 5 Y8/3浅黄色	硬	密	
438E-243 288E	K-22 J.E.	23.4	16.0	0.4	0.8 0.8	N4/0灰色	硬 (砂粒を含む)	中中密	
438E-242 288E	K-22 J.C.	23.6	23.5	0.4	0.8 0.8	N4/0灰色	硬	中や粗	
438E-243 288E	K-22 M.E.	23.3	22.4	0.4	0.8 0.8	N4/0灰色	硬	中中密	
438E-244 288E	K-22 L.D., K.D.	23.9	21.8	0.3	0.5 0.4	N4/0灰色	軟	中中密	凹面磨れ砂
638E-245 288E	K-22 M.F.	23.1	22.9	0.3	0.7 0.4	N3/0灰色	軟	密	

表4 丸瓦・平瓦觀察表

B区出土丸瓦

辨认番号 出土地点番号	出土地点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	色調	地皮	胎土	備考
178E-50 300E	K-22 O H	約43.0	約18.8	2.1	2.5Y4/1黄灰色	軟	泥	
178E-51 300E	K-22 N G	約30.9	約17.5	1.9	另・N4/0灰白色 内・Nb/0灰白色	中	泥	
180E-52 300E	K-22 J C	約22.0	約14.5	1.9	N4/0灰白色	硬	泥	
180E-53 300E	K-22 I C	29.7	約14.4	2.0	7.5Y5/1灰白色	中	中中粗	
180E-54 300E	K-22 N G	30.6	約14.7	2.4	N6/0灰白色	硬	中中粗 (砂粒を含む)	二次焼成
180E-55 300E	K-22 J C	31.7	約14.5	2.5	8 Y4/1灰白色	硬	泥	
180E-56 300E	K-22 O G	約23.6	約17.8	2.3	10Y4/1灰白色	軟	泥	二次焼成
442E-246 390E	K-22 J C, J D	27.2	13.6	2.0	N3/0灰白色	硬	泥	
443E-245 390E	K-22 K E	33.8	13.6	1.6	N4/0灰白色	硬	泥	
443E-250 390E	K-22 J C	33.8	13.9	1.6	N3/0灰白色	軟	中中粗 (砂粒を含む)	

B区出土平瓦

辨认番号 出土地点番号	出土地点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	色調	地皮	胎土	備考
180E-56 O H	K-22	約25.0	約22.9	2.0	N4/0灰白色	硬	中中粗 (砂粒を含む)	
200E-59 290E	K-22 O G, P G	約30.6	約25.1	2.4	10Y6/1灰白色	中	中中粗	表面剥落
200E-60 290E	K-22 N G	37.6	約22.8	2.6	2.5Y4/1黄灰色	軟	泥	

表5 丸瓦・平瓦(文字瓦)観察表

B区出土丸瓦

辨认番号 出土地点番号	出土地点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	色調	地皮	胎土	備考
442E-257 390E	K-22 J C	約11.1	約8.7	2.1	5 B3/3暗青灰白色	中	中中粗 (砂粒を含む)	大正三年 四月 (1913年)

B区出土平瓦

標印番号 測量番号	出土地点	高さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	色調	焼成	鉢土	備考
460E-255 320E	K-22 K.F	高19.1	幅11.5	1.8	N4/D灰色	硬	青	9保土牛 (1725年)
460E-256 320E	K-22 K.F	高23.2	幅19.0	1.7	N5/D灰色	硬	青	享保土牛 青 六月十六日 (1725年)

表6 道具瓦観察表

B区出土道具瓦

標印番号 測量番号	出土地点	直径 (mm)	周縁幅 (mm)	周縁高 (mm)	内鉢厚 (mm)	發達込み 方向	高さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	色調	焼成	備考
210E-03 310E	K-22 J.B	15.4	2.0	0.8	11.0	左	高23.1	15.4	3.1	30Y8/1灰白色	中	成文17保、ヘラ記号 直ぐ壊れか、凹部は アンダウの工具調整
210E-02 310E	K-22 N.F	14.5	2.6	0.8	9.3	左	高9.1	14.5	2.4	2.5Y8/0淡黄色	軟	丸文24個 鉢土青
210E-03 K.E	K-22 K.E						高20.3	16.0	1.8	N5/D灰色	硬	凸側ヘラ記号 凹面ランジ調整 鉢土や中筋
430E-246 N.F	K-22 N.F						高15.0	15.2	2.0	2.5G-Y3/1黒色	軟	凹面にランジ目の 工具による調整 鉢土青
440E-247 250E O.G. PG	K-22 K-22 J.D.						21.3	16.2	2.8	N6/D灰色	硬	鉢土や中筋 (砂利を含む)
430E-251 310E	K-22 J.D.						22.9	15.6	1.7	N5/D灰色	硬	鉢土や中筋 (砂利を含む)
430E-252 K.E	K-22 K.E						高14.9	16.4	1.7	N5/D灰色	硬	鉢土や中筋

表7 石製品一覧表

石 白

番号	種類	直径 (mm)	高さ (mm)	供給口径 (mm)	重量 (kg)	寸法×割	保存状	石質	出土地点	備考	
470-258 3346	石臼	29.5	14.0	4.0	22.8	8×4	60%	BK 粗晶砂岩	BK K-22L7	石臼に軸用 上臼 未成品 フルガアナ有	
470-259 3346	石臼	(28.5)	13.7	4.0	22.2	8×4	60%	*	BK K-22L7	上臼 未成品 フルガアナ有	
470-260 3346	石臼	29.2	13.0	4.0	22.5	8×4	60%	*	BK K-22L7	上臼 未成品 フルガアナ有	
470-261 3346	石臼	31.5	11.0	4.5	22.4	8×4	60%	*	BK K-22L7	上臼 未成品 フルガアナ有	
480-262 3346	石臼	(30.0)	14.0	(20.0)	9.5	8×4	60%	*	BK K-22M2	上臼 未成品 フルガアナ有	
480-263 3346	石臼	(28.0)	11.0	2.5	(20.4)	6.0	8×5	60%	*	BK K-22J3	上臼 未成品
480-264 3346	石臼	(29.0)	14.0	10.0	(22.2)	7.5		60%	*	BK K-22L7	上臼 未成品 フルガアナ有
480-265 3346	石臼	(29.0)	13.0		(22.0)	8.0	8×4	60%	*	BK K-22J3	上臼 未成品
480-266 3346	石臼	29.0	12.5			16.5	8×4	60%	*	BK K-22K7	下臼 未成品
480-267 3346	石臼	40.0	13.0			23.0	8×9	60%	*	BK K-22L7	石臼に軸用 下臼
480-268 3346	石臼	21.0	12.0	3.0	(17.2)	3.7		60%	*	F BK K-16R5	上臼 未成品
480-269 3346	石臼	28.0	11.5			8.0	8×4	60%	*	F BK K-16R5W	下臼 未成品
480-270 3346	ミソ臼	19.0	13.0		24.2	17.0	65%	*	F BK K-16R2W	下臼 未成品	
480-271 3346	石臼	29.0	12.5			19.0		100%	*	F BK K-16R5V	未成品
480-272 3346	ミソ臼	23.0	9.0		20.4	13.5		60%	*	G BK K-16L5	下臼 未成品
480-273 3346	石臼	37.0	13.0			14.0		60%	*	G BK K-16L5	下臼 未成品

※()は推定

表8 B区出土石造遗物一览表

五 梳 塔

时间(年)	件号	全高	空 镜			风 镜			水 镜			火 镜			透 玻			刻 文		
			高	宽	厚	高	宽	厚	高	宽	厚	高	宽	厚	高	宽	厚	高	宽	厚
3604—274	残	14.8		4.9	10.7	10.0	14.8×	6.0	11.5	12.2	11.5	16.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
3604	42.9						8.6	5.2	7.2	12.3	10.5	9.6	13.0	*	*	*	*	*	*	
3604—275	残	12.0					11.1×													
3604	28.6						5.2	4.3	5.2	11.4	10.0	10.0	21.2	*	*	*	*	*	*	
3604—276	残	11.1					8.0													
3604	31.6																			
3604—277	残	12.7																		
3604	21.3																			
3604—278	残	15.5																		
3604	27.3																			
3604—279																				
3604																				

表8 B区出土石造遗物一览表

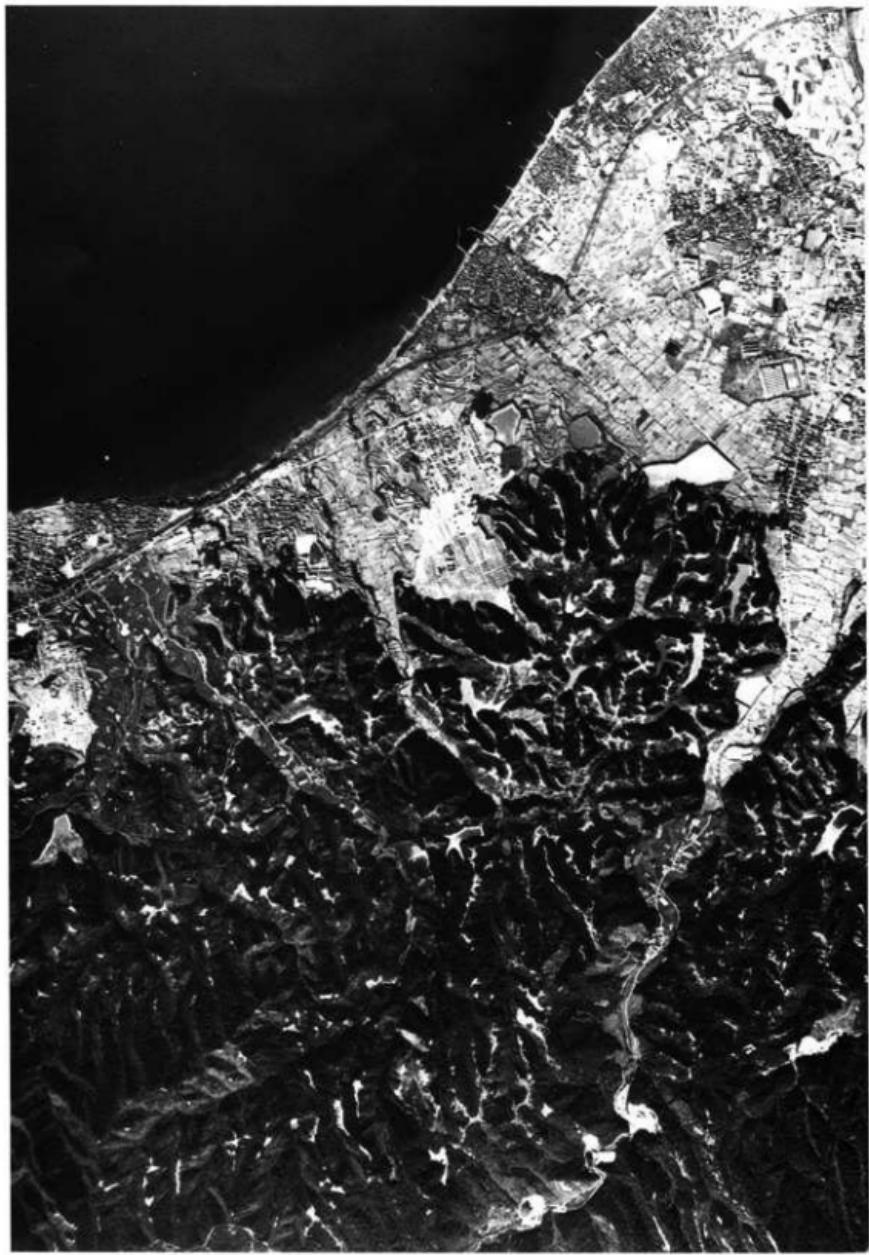
台 座

辨识号 回族号	寸法(寸)					落井	石材
	全高	今幅	横行	上端宽	下端宽		
5085-280 3688	10.0	26.0	26.0	17.6	26.0	横1 反花2	和田砂岩

墓 石

辨识号 回族号	施型	寸法(寸)			石材	款式	纪年款
		高	宽	横行			
5085-288 3588	尖锥型	40.0	25.5	13.0	和田砂岩	圆头尖脊 正身 平底 中空	寛永11年 (1634年)
5085-289 3588	尖锥型	38.6	15.2	8.1	和田砂岩	圆头尖脊 正身 平底 中空	寛永4年 (1607年)
5085-270 3588	尖锥型	45.6	27.4	15.0	和田砂岩	圆头尖脊 正身 平底 中空	
5085-271 3588	尖锥型	45.1	22.7	浅	和田砂岩	圆头尖脊 正身 平底 中空 中空	
5085-272 3588	尖锥型	43.3	19.5	13.4	和田砂岩	圆头尖脊 正身 平底 中空	
5085-273 3688	尖锥型	38.6	15.2	8.1	和田砂岩	圆头	

図 版



阪南丘陵航空写真



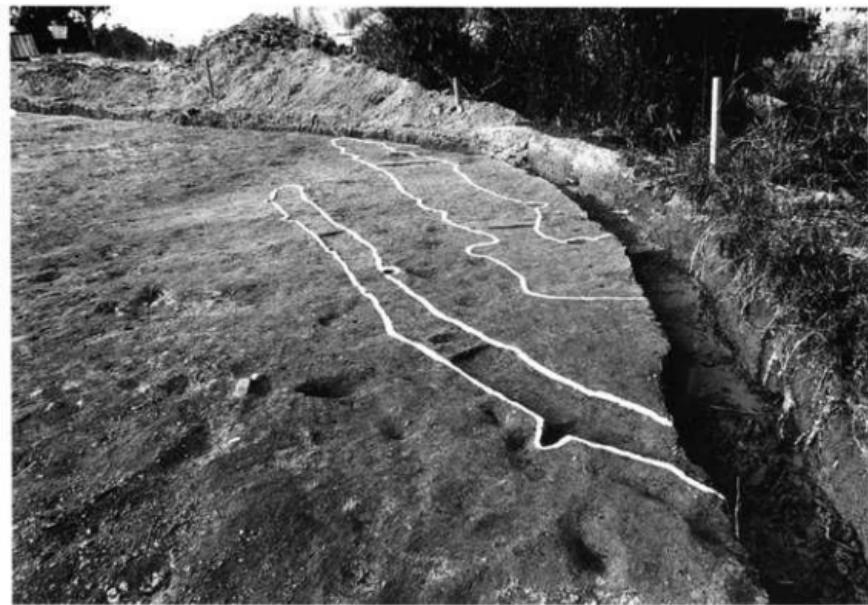
金剛寺遺跡全景（東から）



調査区全景（北から）



調査区全景（南から）



A区1・2-OZ（南から）